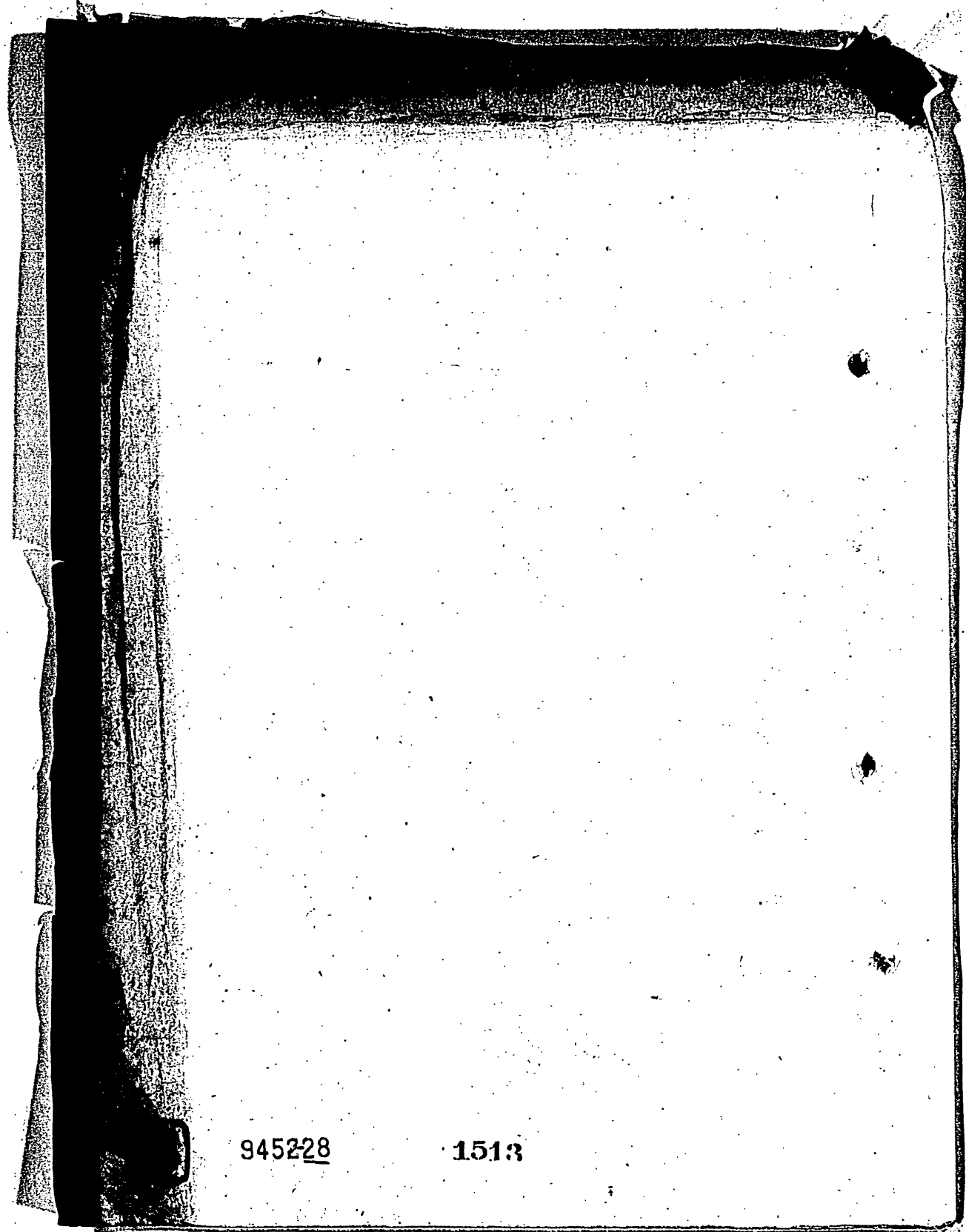




945228

1513

I-0845

0403

八
分
初

三
言
三
三

三
山

德田球外平六名呂安維持法違反及被毒事件

豫審終結決定書寫

供御参考

極秘

東京地方裁判所

S

945228

1514

I-0845

0404

本籍 豫審終結決定
沖繩縣國頭郡名護町字名護七百

住居 四十五番地
東京市芝區烏森町一番地元無産

者新聞社内

元辨護士

徳田 球一

當三十七年

本籍 東京市神田區小川町三十四番地

住居 東京府豊多摩郡落合町下落合千

八百四十四番地
著述業



945228

1515

佐野 學

當三十九年

本籍 横濱市神奈川區青木町字反町八

住居 百四十六番地

東京府豊多摩郡大久保町大久保

百人町三百七番地

著述業

荒畑 勝三

當四十四年

本籍 前橋市北曲輪町甲七十四番地

住居 東京府荏原郡世田谷町代田大原



945228

1516

I-0845

著述業

佐野文夫

當三十九年

本籍 大阪市浪速區東神田町八百二十

四番地ノ一

住居 不定

著述業

北浦千太郎

當三十年

本籍 靜岡縣榛原郡金谷町三百十番地

住居 東京府北豐島郡巢鴨町宮仲二千

四百九十一番地

二

元日本労働組合評議會中
央常任委員

杉浦啓一

當三十四年

本籍 山口縣阿武郡萩町大字南古萩町

十二番地

住居 東京府豊多摩郡淀橋町角筈六百

六十四番地

雜誌記者

志賀義雄

當三十年

本籍 鳥取縣東伯郡下北條村大字田井



945228

1518



945228

1517

I-0845

0405

三十番屋敷
東京府豊多摩郡杉並町天沼七百
八十二番地前田方

著述業

福本和夫

當三十七年

本籍 神戸市關屋町百六番地
住居 同市平野上三條町百五十番地葛
野アキ方

著述業

野坂参式

當三十九年



945228

1519

本籍 山形縣最上郡新庄町五日町九百
九十四番地

住居 東京市麻布區森元町一丁目二十
七番地松尾彰方

新聞記者

門屋博

當三十年

本籍 京都府加佐郡舞鶴町字職人八番
地

住居 東京府荏原郡荏原町小山五百二
十五番地

元日本労働組合評議會中



945228

1520

I-0845

央委員

松尾直義

當三十一年

本籍 京都府與謝郡岩瀧町字岩瀧百六

番戸

住居 東京市芝區三田四國町二丁目五

番地

無職

河田賢治

當三十一年

本籍 石川縣石川郡三馬村字有松イノ

二十九番地

住居 東京府南葛飾郡寺島町寺島千六

百二十五番地

護謨工

南喜一

當三十八年

本籍 鹿兒島市平之町百九番地

住居 東京府北豐島郡西築鴨町池袋千

二百七十二番地佐多常一方

翻譯著述業

尾薩男

本籍 東京市下谷區上野櫻木町五十番



945228

1522



945228

1521

I-0845

0408

地
住居 東京府豊多摩郡野方町上高田三十八番地

著述業

浅野晃

當三十年

本籍 東京市麻布區篁筍町六十九番地
住居 同市小石川區表町百九番地高木
夕二方

無職

中尾勝男

當三十年

五

本籍 東京市下谷區上根岸町八十七番地

住居 東京府北多摩郡立川町下立川千四百三十七番地香川鐵藏方

新聞記者

豊田事

平井直

當三十一年

本籍 香川縣三豊郡觀音寺町大字觀音

寺千五十八番戸

住居 廣島縣沼隈郡鞆町五百三十四番

地入江正一方



945228

1524



945228

1523

I-0845

元労働農民黨東京府支部
聯合會常任書記

入江正二

當二十八年

本籍 長野縣下伊那郡市田村八十九番

地 東京市本所區向島請地町八十八

住居 番地萩原明方

建築工

唐澤清八

當三十七年

本籍 吳市大字二川町二百八十五番地

六

住居 東京市芝區三田四國町二丁目五

番地元日本労働組合評議會本部

内

元日本労働組合評議會書記

片山峰登

當二十八年

本籍 弘前市大字徳田町三十一番地

地 東京市本所區柳島元町八十八番

無職

齋藤久雄



945228

1526



945228

1525

I-0845

04:00

本籍

住居

京都府船井郡檜山村大字橋爪小
字檜山第六十四番地
東京府豊多摩郡大久保町西大久
保四十四番地

當二十八年

元日本労働組合評議會關
東地方評議會執行委員

大島英夫

當三十一年

本籍

住居

新潟市旭町通一番町七百五十四
番地卯
同所

七

無職

中野尚夫

當二十七年

本籍

住居

秋田縣南秋田郡北浦町北浦字北
浦百五番地
横濱市鶴見區潮田北仲町千二百
二十七番地

元關東金屬労働組合執行
委員長

湊七良

當三十四年

本籍

仙臺市鐵砲町二十六番地

[S]

945228

1528

[S]

945228

1527

I-0845

住居

東京市赤坂區田町七丁目二番地

元關東金屬労働組合評議會
常任委員

菊田善五郎

當三十四年

本籍

靜岡縣小笠郡佐倉村佐倉六百十
六番地

住居

東京府豊多摩郡野方町上高田三
十八番地淺野スエ方

著述業

水野成夫

當三十二年



945228

1529

本籍

鹿兒島市下荒田町七十一番地
住居 東京市日本橋區高砂町七番地花
旗方

著述業

喜入虎太郎

當二十九年

本籍

兵庫縣美嚮郡口吉川村桃坂二百
七十九番地

住居

橫濱市鶴見區潮田町二千百七十
七番地

仕上職

岸本茂雄



945228

1530

I-0845

本籍 福山市野上町二千二百二十六番地
住居 東京府北豐島郡西巢鴨町池袋千

二百七十二番地佐多常一方

元日本勞働組合評議會中
央常任委員

中村義明

當三十二年

本籍 鹿兒島縣鹿兒島郡谷山町松崎百

四十六番戸

住居 東京府豐多摩郡大久保町西大久

保百二十五番地

九

S

945228

1531

新聞記者

是枝恭二

當二十七年

本籍 兵庫縣城崎郡豐岡町中九番地

住居 東京市本郷區彌生町三番地

無職

内垣安造

當二十八年

本籍 宮城縣遠田郡富永村上坪字東畑

一番地

住居 東京府北豐島郡龍野川町中里五

S

945228

1532

I-0845

04:13

十一番地

無職

今野健夫

本籍 岡山縣勝田郡梶並村大字東谷下四

百四十番地

住居 東京府荏原郡世田谷町下北澤九

百八十四番地

著述業

西雅雄

本籍 茨城縣東茨城郡長岡村大字長岡

當三十五年



945228

1533

九十番地

住居 東京市牛込區余丁町十一番地

著述業

水野秀夫

當二十八年

本籍 鳥取縣西伯郡餘子村大字中野二

千九百五十二番地

住居 元東京市日本橋區蠣殼町一丁目

二番地

無職

小西茂國

當二十七年



945228

1534

I-0845

本籍 千葉縣東葛飾郡市川町大字市川
三千百六十三番地

渡邊政之輔

明治三十二年九月

本籍 京都府船井郡東本梅村字赤熊五
十二番戸

日下部千代一

明治三十七年八月

右各被告人ニ對スル治安維持法違反被告
事件ニ付併合審理ノ上終結決定スルコト
左ノ如シ

主文

二

被告人徳田球一、佐野學、荒畑勝三、
佐野文夫、北浦千太郎、杉浦啓一、
志賀義雄、福本和夫、野坂参貳、門
屋博、松尾直義、河田賢治、南喜一、
村尾薩男、浅野晃、中尾勝男、平井
直、入江正二、唐澤清八、片山峰登、
齋藤久雄、大島英夫、中野尚夫、湊
七良、菊田善五郎、水野成夫、喜入
虎太郎、岸本茂雄、中村義明、是枝
恭二、内垣安造、今野健夫、西雅雄
水野秀夫、小西茂國ニ對スル被告事
件ヲ各東京地方裁判所ニ公判ニ付ス



945228

1536



945228

1535

I-0845

△被告人渡邊政之助、日下部千代一ニ對スル公訴ハ各
之ヲ棄却ス

理 由

大正十二年六月檢舉セラレタル日本共產黨（以下第一次日本共產黨）ハ革命的手段ニ據リテ我國體ヲ變革シ私有財産制度ヲ否認シ「プロレタリア」獨裁ノ社會ヲ樹立シ因テ以テ共產主義社會ノ實現ヲ目的トスル秘密結社ニシテ同十一年七月其創立大會ヲ舉ケ共產黨「インターナショナル」ノ支部トシテ承認セラレ其組織ノ擴大並黨政策ノ宣傳實行ニ努メシトコロ前記ノ檢舉ニヨリ其幹部ノ大半ヲ喪ヒ次テ同年九月ノ關東地方大震災ニテ黨員離散シ事實上殆ト潰滅狀態ニ陷リシヨリ殘存黨幹部ハ寄り寄り其善後策ニ付協議シ從來黨不振ノ原

外務省



945228

1537

I-0845

04:15

因ハ主トシテ宗派的（セクト的）傾向ヲ内包スルニ在ルヲ以テ此際
弊風一掃ノタメ寧ロ一先ツ解黨スヘシトノ意見ニ一致シ同十三年二
三月頃東京府荏原郡大森町森ヶ崎ノ某旅館ニ於テ解黨決議ヲ爲スト
共ニ殘務ノ處理及共產主義運動助成ノ機關トシテ「ビューロー」（
殘務整理委員會）ヲ設ケ同年五月※



945228

1538

I-0845

14. 1.
上海一月
部被組ケ再東發其
長告織ル建部長刊機
ト人ノ左ノ長セ關
謀佐準翼ヨリ紙
議野備ヲ數シテ
ノ學取、示解上
結掛、セ黨海
果數其、ラノ
名上翊、レ根
海正大衆本
＝會員養誤
合十四成體
シ四年其内
右一月他＝
極東月黨於

シ命最ト謀議ノ結果
指の最近日本労働運動、農民運動、革命
全政治的階級運動、集中主義打破、際
主義分子ノ組織ヲ缺クハ革命

S 945228 1539

運動上ハ運動カ相應ニ自然的生長ヲ遂
本革命ハ運動カ相應ニ自然的生長ヲ遂
ケタル後共産黨ヲ結成スヘシトノ日和
見主義ヲ打破セサル限リ其進行困難ナ
リ、解黨ノ主要原因ハ從來指導者カ大
衆ヲ基礎トスル革命の戦術ニ據ラス單
＝個人關係ヲ辿リテ黨員ヲ結合シ觀念
的抽象的理論ニヨリ指導セル誤謬ニ在
リ、且從來民主主義要求ノ闘争、労働
者農民ノ日常闘争ヘノ積極的参加、非
合法黨文獻ノ必要等ニ關スル「コミン
タイン」ノ指令モ亦無視セラレタリ、

S 945228 1540

I-0845

日本ノ共產主義者ノ緊急任務ハ「コミ
ンタール」日本共産黨綱領草案ヲ中心
トシテ自然ニ生長シツアル運動ヲ專
制主義ニ對スル鬭争ニ導キ專制主義及
日和見主義ニ對スル鬭争ヲ通シテ大衆
ノ間ニ積極的具體的ノ宣傳煽動ヲ開始
シ急速ニ共産黨ヲ結成シ、當面ノ任務
ハ合法的文書及新聞ハ合法的文書及
新聞ノ配付トノ結合ヲ巧ニシ合法新聞
ハ非法新聞ノ内容及精神ニ則リ自由
主義的思想ヲ克服シ指導分子ハ過去一
切ノ政治的組織的誤謬ヲ清算シ個人中

S

945228

1541

心主義又ハ人爲的驅集メ等ヲ排シ労働
階級中ノ積極的前衛分子ヲ鬭争ノ中ヨ
リ徵集シ労働者ヲ指導部ニ引入レ舊黨
員ノ優良分子ヲ吸收シ黨ヲ細胞ノ基礎
ノ上ニ再建スヘキモノナリ
トノ趣旨ノ所謂上海一月「テゼ」昭
和四年押第四四六號ノ九ニ中「テ決
シ其翌二月中「ビュロー」ハ右「テ
ゼ」ノ方針ニ準據シテ労働組合運動、勞
農政黨運動對策ヲ定メ「コムニスト」グ
ルプ員ヲ選定シ労働者分子ヲ参加セシメ機關新

S

945228

1542

I-0845

昭和三年七月

聞ヲ發行スルコト其他ヲ決定シ之ニ基キ
諸般ノ材料ヲ蒐集シテ新聞發行ノ準備ヲ
進メ全國勞働組合ノ左翼化ニ努メ次テ同
年五月被訴人佐野學外ニ名上海ニ會合シ
大震災後資本攻撃激烈ニシテ勞働組
合運動ノ轉換ヲ必要トスルニ至リシカ
當時日常鬭爭ニヨル大衆獲得ノ手段ヲ
知ラス日和見主義幹部ト有效ニ鬭フコ
ト能ハス又勞働組合ヲ以テ黨ニ代用セ
シムル誤謬ニ陥リタリ吾々ノ緊急任
務ハ廣汎ナル組織大衆殊ニ左翼化セ
ル大衆ヲ勞働組合ニ組織シ全國總聯



945228

1543

合ヲ促進シテ組合運動ヲ統一シ産業
的の合同ノ促進、地方勞働組合會議ノ自
主的活動ノ促進、工場委員會運動ヲ發
展セシメ以テ右翼首領トノ鬭爭及勞働
組合擴大ニ利用スルコト等ニシテ又日
本勞働總同盟以下總同盟ト略稱シノ
左翼タル革新同盟ハ脱退セス飽迄其内
部ヨリ右翼勢力ヲ破壊シテ左翼ノ統一
結成ヲ試ムヘク以上ノ任務遂行ノタ
メ現實鬭爭ト結付ケテ直接ノ共產主義
教育ヲ行フタメ全國的勞働組合新聞ヲ
發行シテ廣汎ナル勞働者ニ對シ大衆的



945228

1544

I-0845

煽動ヲ行ヒ同時ニ月刊雜誌ヲ發行シテ
 労働組合ノ活動分子ノ理論的成長、國
 際的經驗ノ攝取等ニ努ムヘク、當面セ
 ル最重要ナル「スローク」ハ
 (一) 現實政策ニ立脚セル革命的日常
 闘争ニヨル大衆ノ獲得
 (二) 失業反對ノ闘争
 (三) 労働組合ノ自由
 (四) 産業別體系ノ完成
 (五) 全國總聯合ノ建設
 (六) 無產階級ノ階級的政黨ノ建設即
 行

S 945228 1545

政府及資本家トノ妥協排撃
 (七) 極東労働者ノ團結
 (八) 一大「インターナショナル」ハ
 (九) 統一労働組合「インターナショナル」ハ
 ナリト趣旨ノ所謂上海五月「テ」セ
 (一) 前同證中「決定シ同年八月初頃被告
 人徳田球一、同佐野學、同荒畑勝三、同
 北浦千太郎、同渡邊政之輔、黨員間庭末
 吉等東京府豊多摩郡落合町下落合ノ被告
 人佐野學方ニ於テ「ビュロー」會議ヲ
 開キ共謀協議ノ上右一月及五月ノ上海「

S 945228 1546

I-0845

テーゼーヲ軌範トシテ

一、共產黨ハ工場細胞ヲ基礎トシ民主
的集中主義ノ原則ニ立テ労働者農民
ノ大衆團體ノ間ニ「フ」ヲクシヨン
ヲ形成スヘク、党内ニ意見ノ差違アル
モノ一旦決議ヲ見シ以上之ニ服従ス
ヘク
一、現在「コムニスト、グループ」ハ
構成員少數ニシテ且分散ナルヲ以
テ即時工場、職場及街頭細胞ニ再組
織スヘキモノナルカ先ツ仕事（例ハ
労働組合、無産政黨、青年運動、機



945228

1547

85526

一、關紙等中心ノ細胞ヲ形成スヘク
一、「コムニスト、グループ」ハ將來
ノ共產黨員獲得ノタメ労働者農民中
ノ戰鬥的分子ヨリ候補者及「フ」アン
クシヨナリ「ル」ハ方針實行者「フ」攀
クヘク

一、會費ノ納入ヲ嚴格ニ實行スヘク
一、工場、職場及街頭細胞ノ任務ハ勞
働組合ノ仕事、失業者ノ間ノ仕事、
婦人ノ間ノ仕事、工場委員會ノ仕事、
選舉戰ニ際シテノ仕事、黨文獻配付
ノ仕事、無産政黨其他ノ大衆團體ノ



945228

1548

I-0845

間ノ仕事、農民トノ接觸、兵士及水
 兵ノ間ノ仕事等ニシテ細胞ノ決議ハ
 其全員ニヨリ為サルヘク
 一、中央委員會ハ大會ト大會トノ間ノ
 最高機關ニシテ黨務一切ヲ統轄シ其
 構成員ハ大會ニ於テ選ハレ其變更ハ
 大會又ハ「コミンタイン」ノミ之ヲ
 為シ得ヘク
 一、中央執行委員會ハ失業者同盟、婦
 人同盟、赤色救済等ノ仕事ヲ計畫シ
 夫等ノ組織ニ對スル黨員ノ参加ヲ命
 令ス

八

一、中央委員會直接ノ統制下ニ政治委
 員會、産業部（労働組合）、農業
 部、組織部、婦人部、事務係ヲ設ク
 一、中央委員會ハ「コミンタイン」ト
 同シク支那及朝鮮共產黨ノ執行委員
 會トモ聯絡スヘシ
 ト
 一、趣旨ノ組織「テーゼ」竝
 一、日本ノ經濟財政状態カ益々不正常
 不健全トナリツツアル結果労働階級
 及小作人大衆ノ生活窮乏ト其急進化
 ハ無產政黨組織運動ノ急速ナル展開
 中ニ現レ其運動ハ既ニ宣傳及煽動ノ



945228

1550



945228

1549

I-0845

域ヲ脱シテ一個ノ組織ノ中ニ發展セ
 ントスル時期ニ達シタリ、支配階級
 ノ凡テノ分派―憲政會、政友會、貴
 族院、樞密院―ハ凡ユル反動的方法
 ニヨリ特ニ無產政黨ヲ大衆ヨリ切離
 シ無意味ノ政治團體ヲシメントシ
 共產主義ヲ裏切りシ一派ノ改良主義
 者ハ無產政黨ヲシテ共產主義者ヲ除
 外セル社會民主黨ヲシテハ陰謀
 ス、無產政黨内ノ左翼ハ
 (一)帝國主義戰爭ノ打破
 (二)朝鮮其他ノ殖民地ノ自決

元



945228

1551
945228

、支那ニ對スル壓迫政策ノ撤廢
 (三)労働者階級ノ國際的團結
 (四)土地ノ實際的耕作者ハ土地所有
 (五)八時間労働及失業者ニ對スル仕
 (六)事又ハ充分ヨキ生活費ノ給與
 (七)労働者ノ生産管理
 (八)十八歳以上ノ普通選舉
 (九)言論、出版、集會、團結ノ自由
 (十)治安維持法其他ノ壓迫法律ノ廢
 止
 (十一)上院、樞密院、元老ノ廢止
 (十二)我等ノ當面ノ「スローガン」



945228

1552

I-0845

即時新選舉法ニヨツテ總選舉ヲ行

(三) 我々ノ中心の繼續的「スロー」ガ

ナル具體的行動綱領ヲ持ッヘク

二、共產主義「ブルジョア」ノ任務ハ一

派ノ社會改良主義、日本「フェアビ

ア」ニシテ協會、政治研究會舊幹部ノ小

「ブルジョア」ニ急進主義ヲ具體的關

争裏ニ克服シテ無產政黨運動ノ外

ニ放逐シ、大衆自身ノ興味ト活動ト

ニヨツテノミ大衆的階級的ノ無產政

黨カ形成セラルルコトヲ認識シ凡ユ

ル宣傳的組織的方法ニヨリ大衆ヲ動

員シ、共產主義「ブルジョア」直接指

導下ノ教育協會、青年同盟、水平社

無產青年同盟、左翼組合ヲ結合シテ

無產政黨内ニ共產主義分派ヲ作ルニ

アリ

三、無產政黨内ノ左翼ハ階級協調ニ對

シテ階級闘争ヲ、資本主義ノ再建ニ

對シテ其打破ヲ掲クヘク、黨ノ中央

S

945228

1554

S

945228

1553

I-0845

0425

労働者タルヘク無産政黨カ理想的の政
黨ナリトノ幻想ニ捉ハレス真ノ「プロ
ロレタリア」黨ハ共產黨ノミナルコ
トヲ意識スヘク、不必要ナル分裂ハ
勿論避クヘキモ飽迄批評ノ自由ヲ失
フヘカラス
トノ趣旨ノ無産政黨「テーゼ」ヲ決定シ
共產主義者「グループ」ヲ速ニ建設シ「
ビュロー」員即チ全參加者ナル組織ヲ
革メテ從來ノ「ビュロー」員ヲ中央委
員ト爲シ年會員ヲ獲得シテ細胞ヲ組織シ
第一次日本共產黨ノ被告人ニシテ有望ナ
ニ



945228

1555

ル者、労働運動ニ相當經驗アリテ現在運
動ニ從事スル者ヲ直ニ「ビュロー」員
ト爲シ機關紙無産者新聞ヲ發行シ「コミ
ンタイン」ノ一般的規約ニ準據スルコト
ヲ決定シ中央委員長、政治部長、組合部
長、關西地方ニ於ケル委員長、青年部長
無産者新聞主筆等ヲ夫々任命シ茲ニ目的
及其達成ノ過程ニ於テ第一次日本共產黨
ト同様ナル新共產黨結成ノタメニ先ッ共
産主義思想及政策ヲ宣傳シ且將來黨員
タルヘキ人物ノ獲得ヲ主眼トスル秘密結
社「コムニスト、グループ」ハ共產主義



945228

1556

I-0845

0425

者團ノ組織確立シ「コミンタイン」ヘ
ノ加入ヲ承認セラレ恰モ本部對支部ノ關
係ニ立チ其政治的指導ニ服スルニ至リタ
リ

日本共產黨ハ從前「コミンタイン」大
會又ハ其「プロレナム」(中央委員總會)
ニ代表ヲ派遣シ居リシカ大正十二年ノ大
震災前後ヨリ杜絶セルト、當時勞農政黨
運動カ重要ナル轉向期ニ在リシヨリ「コ
ミンタイン」ハ「プロレナム」(常任委
員會)ハ大正十五年二月開催ノ「コミン
タイン」ハ「プロレナム」ニタリシ

「プロレナム」ニ日本代表派遣ヲ要求シ來リ
シヨリ日本ニ於ケル運動情勢ヲ報告シテ
爾後ノ運動方針ニ付指令ヲ仰クタメ大正
十四年十二月ノ擴大「ビューロー」(中
央委員)總會ハ「コミンタイン」ニ對ス
ル政治經濟及諸無產階級運動情勢ノ報告
案ヲ決定シ被告人徳田球一ヲ代表トシテ
派遣シタリ
「プロレナム」ハ前記組織
確立後尚
一、無產政黨問題ニ關シテハ大正十四



945228

1558



945228

1557

199709

I-0845

年八月頃日本農民組合が全國的無產政黨組織ヲ提唱スルヤ之ヲ支持シ「全國的階級的大衆的單一無產政黨組織」ナ「スローガン」ノ下ニ左翼的行動綱領ヲ採用セシムヘク日本労働組合評議會等ヲシテ無產政黨ヘノ加三
退ヲ激成シ同年十一月ニハ總同盟ノ成立ヲ見ルニ至リシヨリ單一政黨ノ成立ヲ救フタメ讓歩退却ノ戰術ヲ採リ
政治研究會等ヲ活動セシメタリ然ルニ左翼ノ積極的進出ハ右翼トノ對立ヲ激成シ同年十一月ニハ總同盟ノ成立ヲ見ルニ至リシヨリ單一政黨ノ成立ヲ救フタメ讓歩退却ノ戰術ヲ採リ
評議會等ヲシテ無產政黨ヘノ加三



945228

1559

BSSC49

遠慮セシメテ同年十二月一日農民労働黨ヲ成立セシメシカ同黨ハ即日禁止セラレタルヨリ其再起運動促進ノタメ地方協議會ヲ動カシ翌十五年三月労働農民黨（以下労働農民黨ト略稱）ノ成立ヲ見シカ左翼三團體ノ排除ニヨリ同黨ハ右翼ノ掌中ニ歸シ從ツテ左翼ハ孤立ノ危機ニ瀕シタルヨリ轉シテ積極的左翼進出ヲ主張シ先ツ同黨各地方支部ヲ確立左翼化シテ支部承認、門戸開放、議會解散請願運動等ノ要求ヲ爲サシメ以テ同黨ノ實質



945228

1560

I-0845

ヲ下ヨリ築止ケ再ヒ左翼ノ手中ニ收
ムル方針ノ下ニ諸般ノ活動ヲ爲シ遂
ニ同黨ヲシテ左翼ニ門戸ヲ開放スル
ニ至ラシメ
ニ、労働組合運動ニ付テハ評議會ヲ中
心トシテ左翼労働組合ヲ廣汎ニ組織
スルタメ全國労働組合會議ヲ建設シ
之ヲ評議會ノ領導權ヘヘグモニ
ノ下ニ置キテ労働組合ノ統一及左翼
化ノ機關ヲシムル方針ヲ採リ各勞
働組合ノ組織セシムル或ハ全組合ノ産業
トシテ組織セシムル

S 945228 1561

別整理ニ着手シ無産政黨準備委員會
全國労働組合統一運動ノ組織等ヲ促
進シ、各地方ノ未組織左翼分子ヲ指
導シテ労働組合ヲ組織セシムル未組織勞
働者ノ労働運動ヘノ動員及組織化ノ
タメニ工場代表者會議運動ヲ爲サシ
メ、失業者運動委員會ヲ組織シテ失
業者反對委員會（公然ノ組織）ノ運
動ヲ指導シ
三、労働者農民大衆ノ團體的政治運動
ヲ停滞ハ幹部ノ怠業ニヨル労働黨ノ
極端ナル無活動ニ基クヲ以テ之ヲ打

S 945228 1562

I-0845

破シ同黨ヲシテ大衆動員ノ方法タル
議會解散、普通選舉法ニヨル總選舉
要求運動ヲ起サシメントセシカ同黨
カ左翼團體排除ヲ決定スルニ及ビ右要
求ニ團結權、耕作權、言論集會自由
ノ獲得ヲ結付ケ左翼ヲ以テ實際上一
主導者トシ労働者農民及小市民ノ一
般大衆ヲ動員シ而モ之ヲ同黨主催ノ
形式ニ導カシムヘク指導シ
其他政府ノ對支政策ヲ攻撃シ東京、大阪
メ、労働組合ヲシテ出兵反對決議ヲ爲サシ
五

S 945228 1563

其他各地方無産青年同盟ノ組織並運動ヲ
指導セシメ、租税軽減、消費組合運動等
ノ農民運動ヲ提唱シ、無産者新聞ヲ擴張
シテ前記諸運動ニ付テハ勿論其他各般ノ
問題ニ付「グループ」ニテハ方針ヲ宣傳煽動
セシメ「コミンタイン」ニテ日本派遣員ヨリ
運動上ノ指導、財政上ノ援助ヲ受ケ組織
ノ擴大、其主義政策ノ宣傳ニ努メシ結果
最初數名ニ過キヤリシ構成員ハ其數ヲ増
シ大正十五年三月頃ニハ約三十名、同年
八月頃ニハ約六十、七十名ニ達シ漸次黨ノ
形態整ヒ自然日本共産黨ト稱スルニ至リ

S 945228 1564

I-0845

タリ
其間曩ニ「モスコ」ニ派遣セラレタ
ル被占人徳田球一ハ同年六月頃
展シ從來地主ノ領導權ノ下ニアリシ地
主資本家ノ同盟ヘブロック（政權ハ完
全ニ「ブルジョア」ノ掌握ニ歸シタル
カ「ブルジョア」及地主ハ大正九
年ノ大恐慌、同十二年ノ大震災ノ打撃
ヲ労働者農民及小「ブルジョア」ニ轉
嫁シ其結果労働者農民ノ窮乏、小「ブ
ルジョア」層ノ「プロレタリア」化著
シタルヲ見



945228

1565

シク労働者農民ノ運動ハ急速ニ左翼化
シツツアルヲ以テ日本共産主義者「グ
ループ」ハ「コミンタール」ノ方針ニ
基キ即時黨再建ニ全カヲ集中スヘク、
「ブルジョア」地主ノ同盟ニ對スル一
切ノ反抗勢力結合ノタメ労働政黨運動
ヲ必要トスヘク、單一政黨樹立ノタメ
ニ黨ノ獨立性ヲ失フヘカ「サルハ勿論
労働政黨内ニ強固ナル黨「フ」ラクシヨ
シ」ヲ形成シ其領導權ヲ握リテ共産黨
ノ影響下ニ置キ又労働者ノ日常要求及
闘争ニ最積極的ニ参加シ左翼労働組合



945228

1566

I-0845

ノ擴大強化ト労働組合統一運動ニ努力
 スヘク、日本ニ於テハ「ブルジョア」
 革命ハ「プロレタリア」ト農民トヨ
 リテ遂行セラルルヲ要シ而モ該革命ハ
 急速ニ「プロレタリア」革命ニ轉化ノ
 展望ヲ有スルカ故ニ共産黨ハ労働者農
 民ノ凡ユル進歩的民主主義的要求ノ先
 頭ニ立チ最モ活潑ニ犠牲的活動ヲ爲ス
 ヘキモノナリ
 トノ趣旨ノ所謂「モスコ、テーセ」並
 之カ實行ニ必要ナル組織及宣傳煽動ニ關
 シ發スヘキ

 945228 1567

從來ノ日本共産主義者「ブルジョア」的躊躇ニ充チ特ニ一派ノ舊社會主義者ノ惡癖殘存スルヲ以テ徹底的ニ之ヲ除去シ
 共産黨ニ參加セントスル労働者ハ直ニ
 黨員タラシムヘク、從來ノ活動ハ宣傳
 煽動及「カンパニア」ヘ大衆的闘争ニ
 ト組織トニ於テ非常ニ不均衡ナリシカ
 故ニ全體系ノ「ボルシェヴィキ」化ヲ
 急キ「グループ」ヲ擴大スルト共ニ「
 コミンタイン」ノ組織方針ニ遵ヒ工場
 細胞ヲ建設シテ黨ノ基礎ト爲シ「グル

 945228 1568

I-0845

要ナル秘密出版ニ努力スヘク、労働組
合、農民組合、労農政黨、青年團體等
内ニハ直ニ黨ヲフラクシヨシ、ヲ結成
スヘク、次回ノ「コミンタイン」プロ
ナム「迄ニ「グルー」ハ其成員ヲ擴
大シ黨創立大會ヲ開キ其報告ヲ爲スヘ
シ
トノ趣旨ノ指令ヲ携ヘテ歸朝シタルヨリ
其後間モナク群馬縣碓氷郡碓氷町碓氷
泉附近ノ碓氷河原ニ於ケル擴大ビニ
ロ「會議ニヨリ右「テ「ゼ「ヲ承認シ



945228

1569

翌年二月上旬ヲ期シ黨大會ヲ開催スルコ
トヲ決定シ爾來右「テ「ゼ「ニ連ヒ更ニ
諸般ノ活動ヲ展開シ「グルー「ハ新ニ關東、關
黨員ヲ獲得シ同年九月ニハ組織ノ擴大整備
ニ努メ居リシト「コ「同月初頃「「コミ
「シ「ヨリ大會期日繰上ノ指令ニ接シタ
ルヨリ其準備ヲ急キ特別委員ヲ設ケテ議
案ノ作成其他大會ノ準備ニ當ラシメ大會
ノ時、場所、出席代議員、選任スヘキ役
員等ヲ決定シ大會ノ準備整ヒタルヨリ同
年十二月三日福島縣伊達郡湯野村穴原温



945228

1570

I-0845

泉某旅館ノ會合ニ於テ右決定ヲ承認シ更ニ大會日程等ヲ定メ其翌四日被告人佐野文夫、同福本和夫、同渡邊政之輔等ヲ始メ十七名ノ黨代議員ハ豫定ノ場所山形縣南置賜郡山上村五色温泉宗川旅館ニ於テ極秘裏ニ黨大會ヲ開キ明治維新後ノ資本主義ノ發展、労働者ノ擡頭、資本家地主對労働者農民ノ階級的政治的經濟的鬭爭運動ノ經過、日本共產黨ノ消長ヲ叙述シ日本資本主義ヲ世界資本主義ノ沒落ニ合流シツックアリト爲シ我國ノ客觀的現勢トシテ



945228

1571

ブルジョア的支配ト鬭フプロレタリアート、專制的遺制ニ反抗スル農民帝國主義「ブルジョア的」抑壓ニ抗爭スル都市小市民ヲ擧ケ「プロレタリアート」先頭トスル絶對專制的遺制ノ完全ナル掃却ヲ目標トスヘク我々資本主義ハ世界大戰後世界資本主義ノ一環トシテ強國ト結合スルニ至リシカ特ニ支那大陸、印度大陸、太平洋諸島等世界の殖民地ニ近接スル關係上英米兩帝國主義ト共ニ是等殖民地民族ノ



945228

1572

I-0845

解放運動ヲ強力ニ彈壓スルヲ以テ我勞
働者農民階級ハ世界帝國主義ノ打破ト
世界革命ノ進行ニ對シ決定的ニ重要ナ
ル使命ヲ負フト爲シ國內ノ經濟上政治
上ノ徹底的變革遂行ト共ニ其使命ノタ
メニ努力スルコトヲ盟フ

トノ趣旨ノ宣言

右宣言ノ方針ト歴史的分析ヲ基礎トセ
ル勞働組合運動方針

黨ハ今日ノ我國支配階級ヲ顛覆シ資本
主義社會ヲ變革シテ「プロレタリア」獨
裁ニヨリ共產主義社會ノ實現ヲ圖リ夫ト

S 945228 1573

共ニ世界革命ノ遂行ニ參加邁進スヘキ旨
冒頭シ

- (一) 黨ハ日本共產黨ト稱シ共產黨「
インターナショナル」ニ加盟ス
- (二) 黨ハ専門的革命家ノ團結ヲ中心
トシ大衆ト密接ニ結合シ集中の民
主主義ヲ以テ組織セラルヘク
- (三) 大會ハ最高機關ニシテ黨ノ綱領
規約及重要ナル政策ヲ決定シ中央
委員會ノ報告ヲ受ケテ中央委員會
委員及統制委員會委員長ヲ選任ス
大會ノ構成ハ中央委員會之ヲ決定

S 945228 1574

I-0845

(四) シ大會ハ中央委員會之ヲ招集ス
、中央委員會ハ大會ヨリ次ノ大會
ニ至ル迄ノ最高機關ニシテ大會
決議ヲ執行シ黨活動ヲ統制ス、中
央委員會ニ政策決定ノタメ政治部
ヲ、組織上ノ事項決定ノタメ組織
部ヲ置ク、中央委員會ハ議長、政
治部長、組織部長ヲ選任シ其三名
ヲ以テ常任委員會ヲ構成ス、中央
委員會ハ決議執行ノ補助機關トシ
テ事務局ヲ置キ中央機關紙主筆ヲ
選任シ必要ニ應ジテ各種専門部員



945228

1575

(五) ヲ任命ス
、地方委員會ハ當該地方ノ黨細胞
ヲ統制シ黨中央部ト細胞トノ聯絡
ヲ可ル、地方委員長ハ中央委員會
之ヲ任命ス
(六) 黨細胞ハ黨員五名以内ヲ以テ構
成セラレ黨ノ基礎組織ニシテ黨政
策ヲ黨外大衆ニ實行シ黨員ヲ教育
シ黨員タルヘキモノヲ養成訓練ス
黨細胞ニ幹事一名ヲ置キ地方委員
會之ヲ任命ス
(七) 新ニ黨員タルヘキ者ハ黨細胞總



945228

1576

I-0845

0435

會ノ全員一致ノ推薦ヲ經テ地方委員會之カハ黨ヲ決定シ中央委員會ノ承認ヲ求ム

(ハ) 統制委員會ハ中央委員會ノ活動ヲ監査シ重大ナル黨規律上ノ事項ヲ裁斷ス、統制委員會ノ決定ハ中央委員會之ヲ認ムル場合ニ限り同委員會之ヲ執行ス、統制委員會委員長ハ中央委員會ノ同意ヲ經テ委員長之ヲ任命ス、委員長ハ中央委員會ニ出席シ必要ニ應シテ黨内各種機關ノ會合ニ出席スルコトヲ得



945228

1577

(九) ハ、黨外團體ニ黨政策ヲ實現スルタメニ當該團體内ニ於ケル黨員若干名ヲ以テ「フ」ラクション、ビュロー「リ」ヲ構成ス、「フ」ラクション「ビュロー」ハ黨中央委員會又ハ地方委員會之ヲ任命ス

(十) 規律違反ハ細胞總會之ヲ審議シ地方委員會其處分ヲ決定シ中央委員會ノ承認ヲ經テ之ヲ執行ス、中央委員會ハ必要ニ應シテ規律委員會ヲ任命ス

トノ趣旨ノ黨規約ヲ滿場一致可決シ、中



945228

1578

I-0845

中央委員、候補者、統制委員長ヲ選任シ
テ同大會ヲ終リ、其翌五日同縣南置賜郡
小野川村小野川温泉某旅館ノ新中央委員
會ニ於テ右中央委員中不在者ノ補充ヲ爲
シ常任委員ヲ選任シ中央委員長、政治部
長、組織部長、無產者新聞主筆等ヲ定メ
中央委員會直屬ノ專門部トシテ宣傳部、
機關紙編輯部、政治部、組合部、農民部
等各委員會ヲ置キ其各擔任者ヲ任命シタ
リ

於是同黨ハ其任務、組織、政策、運動
方針等ヲ確立シ名實共ニ政黨タルノ態容

三

ヲ備フルニ至リタリ。
然ルニ同黨ハ曩ニ獨自ノ組織、活動ヲ
認メス少數ノ共產主義者「グループ」ニヨ
リテ大衆團體ヲ指導スルヲ以テ足リ黨ハ
大衆團體ノ中ヨリ自然發生的ニ生成スル
モノナリト爲シ日本ノ支配階級ノ構成ハ
資本家地主君主制ノ三位一體ナルヲ以テ
日本ニ於ケル革命ハ先ツ「ブルジョア」
民主主義革命ノ段階ヲ經テ然ル後「プロ
レタリア」革命ニ進ムヘシト主張シ且第
一革命ノ遂行者ハ大衆的勞農政黨ナリト
ノ見解ヨリ或時ハ機械的ニ同黨ノ左翼化



945228 1580



945228 1579

I-0845

0438

ヲ圖リ或時ハ共產主義分子ノ退却ニヨル
無條件合同ヲ提唱セル所謂山川ノ退却ニヨル
ハニ指導セラレシカ夫十五年頃共產黨
ハ理論闘争ニヨリテ全無産階級の政治闘
争意識ヲ闘ヒ取リタル職業的革命的革命家
ンテリゲンチヤノ集團ニシテ革命家ノ前
ニ先ツ分離スルヲ要シ職業的革命的革命家
ルハ意識注スルニヨツテ労働者ヲ革命化
スヘクハ革命遂行ノ主體ハ先ツ一國ニ於
テ單獨ニ結成セラレシト日本於
ノ現勢ハ急速ナル没落過程ニアリト認
識ヨリ革命ノ前夜ヲ豫定シ革命ニ於テ打



945228

1581

倒スヘキ支配階級ハ「ブルジョア」ト君
主「モナキー」トノ同盟ニシテ「ブル
ジョア」民主主義革命ハ其進行中ニ内
的必然ニヨリ「プロレタリア」革命ニ
發展スヘキモノナリト爲ス所謂「福本
イズム」擡頭シ「山川」指導理論トナリ
ノ後遂ニ之ニ代リ指導理論トナリ從ツテ
前記宣言方針等殆ト其影響下ニアリシカ
「コミンタイン」日本派遣員之ヲ認容セ
サルノミナラズ黨内ニモ意見ノ對立アリ
テ「コミンタイン」黨内ニカ右大會ノ決
儘容認スルヤ否ヤ頗ル疑問ナルヨリ之カ



945228

1582

I-0845

0439

解決ノタメ數名ノ黨代表ヲ「コミンタール」ニ派遣シタリ、其留守中臨時中央常任委員ハ右派遣正中央委員引繼ノ根本方針ニ遵ヒ

勞農黨ハ労働者階級ヲ先頭トシ「ブルジョア市民」ヲ抱擁セシメ全國的階級的單一共同戰線黨ナルヲ以テ同黨ヲシテ總シテ階級ノ政治的不滿ヲ勞農總聯合促進會議會解散請願運動、ブルジョア採ラシムノ代議權ニシテハ社會民衆黨ハ「ブルジョア」ヲ採ラシムノ代

理人ナルヲ以テ徹底的ニ排撃シ其幹部ト大衆トノ對立ヲ激化セシムヘク、日本農民黨ハ小農民ヲ都市無產階級ノ指導ヨリ分離スル非階級的政黨ナルヲ以テ徹底的ニ排撃シ幹部ノ對立ヲ激化シテ其没落ヲ促進セシムヘク、日本勞農黨ハ以下日勞黨ト略稱シ、其幹部カ大衆ヲ組合主義的政治闘争ノミニ拘束スルヲ以テ其指導理論ヲ排撃シ勞農黨ヲ民衆黨、日本農民黨排撃ノ共同委員會議會解散請願運動、議會對策ニ付テノ

S

945228

1584

S

945228

1583

I-0845

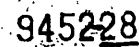
共同戦線、全組合ヲ包含スル勞農總聯
 合ノ樹立等ノ政策協定ヲ執行シ暴露シ且
 シメテ同黨ノ非階級的性質ヲ暴露シ且
 指導下ノ大衆ヲ共同戦線ニ動員スルコ
 トノ趣旨ノ政治的方針ニ則リ作成シタル
 ノ勞働組合運動方針ニ則リ作成シタル
 無產政黨ノ組織發展ノ結果勞働組合
 ハ政治運動ト經濟運動トハ混合型ヲ離
 脱シ日常闘争ヲ通過シテ大衆ヲ動員シ組
 織、教育スル本來ノ機能ヲ果シ得ルニ
 至リタルヲ以テ更ニ之ヲ發展セシムルニ

S 945228 1585

タメニ工場ノ部分的罷業ヲ大衆的示威
 運動總罷業（ゼネラル・ストライキ）
 ニ發展セシメ左翼、中間派組合間ニ於
 ケル「ストライキ」委員會、工場代表
 者會議等ヨリ成ル共同戦線ヨリ組合産
 業別合同ヲ促進スルト共ニ中間派ノ勞
 農總聯合ヲ左翼ノ統一同盟ニ合體セシ
 メ議會解散請願運動ノ組織ヲ此方面ニ
 利用シ、失業運動ニ關シテハ失業者同
 盟ノ組織、失業運動ニ關シテハ失業者同
 發展セシメ、國際的活動トシテハ國際
 勞働會議ノ否認ハ太平洋勞働會議ノ支

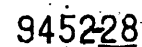
S 945228 1586

三六



1587

元



1588

シメ
金融恐慌ニ付労働者ト政府トノ鬭争激
發ノタメ

大資本關救済政策反對、給料ヲ完全
ニ支拂ヘ、工場閉鎖反對、給料値下反
對、労働者ノ生活ヲ保證スル緊急救済
法竝失業手当法即時制定、全労働者ハ
工場代表者會議ヲ開催シテ要求ヲ統一
セヨ
等
議
運動
五億ノ金ヲ國民カラ強奪セントスル



945228

1589

臨時議會ニ絶對反對セヨ、現議會解散
普選即行ヲ請願セヨ
等
運動
運動ヲ起サシムル方針ニ基キテ諸般ノ活
動ヲ爲シ
昭和二年九月ノ府縣會議員選舉ニ際シ
立入禁止反對、耕作權確立ヲ中心トス
工場法改正其他ノ農民運動、兵役法改正、
デモ運動、政黨加入ノ要求ヲ掲ケ、青年請願
シ、等諸運動ヲ五法案要求運動（大衆



945228

1590

I-0845

ノ不滿組織ノ方法トシテ失業手當法制定
最低賃銀法制定、健康保險法、徹底的改
正、八時間労働制、即時實施、青少年婦人
労働者保護ヲ議會ニ要求スル運動ニ集
中シ更ニ之ヲ府縣會議員選舉戰ニ結付ケ
府縣ト中央政府トハ相對立スルモノニ
ラス地方分權モ自治權ノ伸張モ要スルニ
労働者農民ニ對スル欺瞞政策ニ過キサル
カ故ニ農民其他被壓迫民衆ノ箇々ノ要求
ヲ基本トシテ大衆ヲ政治闘争ニ抽出シ選
舉戰ヲ通シテ大衆ニ政治的專制の支配ヲ關
具體的ニ經驗セシメ政治的自由獲得ノ闘



945228

1591

争ヲ前進セシムルコトヲ以テ基調トシ其
闘争過程ニ於テ日本共産黨ノ組織ノ擴大
完成ヲ圖リ労働者ト農民トノ結合ヲ強化
シ選舉戰中ニ起リタリ凡ユル闘争ヲ引續
キ發展セシムヘク、労働組合、農民組合
ハ資本家地主ノ支配ニ對シ闘争ストノ一
點ニ於テ、無產政黨ハ政治的自由獲得ヲ
條件トシテ各合同スヘク
對支問題ニ付テハ支那安國軍敗退シテ
國民革命軍進出シ田中内閣ノ山東出兵ト
ナルヤ之ヲ非難スル對支非干涉同盟運動
ヲ支持シ直ニ全國的ニ對支非干涉同盟ノ



945228

1592

I-0845

組織＝着手スヘク指導シ
左翼労働組合間＝起リタル汎太平洋労働
會議ヘノ代表派遣運動＝付テハ労働組
合ノ大衆自身カ代表ヲ公選シ又派遣費用
ヲ釀出スヘシ
トノ各方針及日常現實ノ諸問題＝關スル
活動方針ヲ定メ、農民運動其他＝付採ル
ヘキ運動形態ヲ示シテ之ヲ指導シ或ハ下
級機關＝指令シ之＝基ク活動ヲ爲サシメ
或ハ無産者新聞ニヨリ或ハ檄文ビラニヨ
リ大衆の宣傳煽動ヲ爲シ
一面前記黨代表者ハ昭和二年三、四月



945228

1593

頃相前後シテ「モスコ」ニ到着シ同年
七月頃迄ノ間「コミンタ」ニ日本部委
員會、同豫備的會合其他ノ會合＝於テ五
色大會ノ顛末、日本ノ労働運動ノ現情勢
黨内意見ノ對立等＝付報告シ「コミンタ」
「ン」ヨリ從來ノ指導理論ノ誤謬ヲ指摘
セラレ今後ノ方針ヲ授ケラレ
シテ現在列強ノ葛藤ハ太平洋＝集中シ同
時ニ支那ニ強力ナル革命運動進行中＝
ル日本帝國主義ハ「アメリカ」及「イ
ギリス」ト共同シテ支那革命ヲ壓服シ



945228

1594

I-0845

「ソヴィエット」聯邦ニ對スル共同戦
争準備ヲ爲シ居レトモ而モ彼等相互間
ニ太平洋沿岸諸國再分割戰ノ危機熟シ
日本帝國主義ハ其主役ヲ演スヘキ地位
ニアリ
日本資本主義ハ資源ト市場ノ制限ニ
拘ラス尚上向線上ニアリ日本國家ノ封
鎖的特質ハ明治革命以後資本ノ原始蓄
積ノ積杆ヲリシカ政治的重要性ヲ増大
セル「ブルジョア」融合ノ結果日本
國家ハ「ブルジョア」國家ニ變化シ現
在ニ於テハ日本國家夫レ自身日本資本



945228

1595

主義ノ最大要素タリ、日本ハ大規模ノ
國家資本主義ノ體形ヲ整ラルニ至リ宮
廷ペシカドハ大地主タル共ニ大株
主ナリ、一方ニ於テ資本ノ集中、金融
資本ノ指導的役割「トラスト」化、
コンツェルン化ノ過程益々進ミ居ル
モ他方ニ於テ農業ノ發達ハ社會經濟的
ニモ技術的ニモ著シク未熟ニシテ其封
鎖的高率小作料、土地缺乏、極度ノ窮
乏化ハ廣大ナル農民大衆ヲ驅テ革命的
闘争ニ走ラシメツアリ、是等事情ヨ
リシテ日本革命ハ「ブルジョア」民主



945228

1596

I-0845

0445

革命トシテ發シ急激ニ「プロレタリア
革命」ニ轉化スル展望ヲ生ス然ルニ共
産黨ノ力尚弱ク大衆團體モ未タ大ナラ
ス大衆ノ間ニハ排外的愛國心、平和主
義的幻想深ク要スルニ革命ノ主觀的條
件ノ發達未熟ナリ、然レトモ日本資本
主義ノ矛盾ノ激化ト共ニ大衆ノ窮乏化
ト左翼化トハ益々著シク共產黨ノ地盤
ハ益々肥沃ニ赴キツ、アリ
日本革命ノ推進力ハ「プロレタリア
」トシ、農民、都市小「ブルジョア」
ニシテ特ニ重要ナルハ「プロレタリア」



945228

1597

「プロレタリア」農民ナリ而シテ此ニ着ノ革命
的團結ノ具體的條件具ハルモ農民ハ革
命ノ決定的瞬間ニ於テ動搖スル危險性
ヲ有スルカ故ニ「プロレタリア」トシ
ハ此團結ノ領導權ヲ握ラサルヘカラス
共產黨ハ「ブルジョア」民主革命カ「
プロレタリア」革命ヘノ過渡的段階ニ
過ギサルヲ開却セス「プロレタリア」
トシノ領導權ヲ確立シ地主資本家ノ
反動的團結ニ労働者農民ノ革命的團結
ヲ對置スヘク



945228

1598

I-0845

益ノタメニ闘フ唯一ノ革命的前衛ナルヲ以テ共產黨ナクシテ「プロレタリア」獨裁ノタメニ闘争ハ有リ得ヘカラス共產黨ハ一切ノ日常闘争ヲ指導スルド共ニ如何ナル段階ニ於テモ其理論的組織的獨立性ヲ維持セサルヘカラス、同黨在來ノ主要誤謬ハ黨ノ役割ヲ過少評價シ労働組合及労働政黨ノ左翼「フラスヨント」シテ行動セル點ニアリ、同志星（山川均）ノ解黨主義的傾向ヲ克服スルハ黨ノ任務ナリ、黨ハ其量的成長、理論的發展、大衆の性質ノ獲得



945228

1599

ノタメニ闘フヘク大衆ヲ革命的闘争ニ導クタメ「ブルジョア」ノ代理人タル社會民主主義者ヲ克服シ「特ニ革命的言辭ヲ以テ大衆ヲ欺瞞スル左翼社會民主主義ヲ打破スヘク同志黒木（福本和夫）ノ「分離結合」ハ「レニ」主義ニ反ス、其大衆組織ノ分裂ノ合理化、労働組合ノ機械的政治化、労働大衆ヨリノ黨ノ孤立「インテリゲンチヤ」ノ過重評價、組織的仕事ニ關スル完全ナル無智等ハ事



945228

1600

I-0845

實上黨ヲ日和見主義ニ墮落セシメタル
 モノナルヲ以テ其誤謬ヲ克服シメタル
 合ハ統一、社會民主主義影響下ノ大衆
 ノ獲得、戰線統一ノタメニ闘フヘクハ
 如何ナル場合ニモ黨ノ独自の存在ヲ確
 保シ労働階級ノ組織、労働者農民ノ同
 盟ノ形成、プロレタリアトノ領
 導權ノ確立、農民ノ租税及地代軽減
 闘争ノ戦争ノ危機ニ對スル闘争、日本
 國家ノ民主化、封建的要素ノ清算ノタ
 メノ闘争、支那革命及ソヴイエツト
 ノ支持、支那革命及ソヴイエツト

S 945228 1601

聯邦擁護ノ闘争等ノ先頭ニ立ツヘク黨
 ハ次ノスローガンヲ掲ケ
 (一) 帝國主義戦争ノ危機ニ對スル闘
 争
 (二) 支那革命ヲ引ケ
 (三) ソヴイエツト聯邦ノ擁護
 (四) 植民地ノ完全ナル獨立
 (五) 議會ノ解散
 (六) 君主制ノ廢止
 (七) 十八歳以上ノ男女ノ普通選舉權
 (八) 集會ノ自由、結社權、團結權其
 他言論出版ノ自由

S 945228 1602

I-0845

ト
 ナル(二)(一)等(三)(三)(士)(十)(九)
 日本共産黨ハ「プロレタリア」ニ結合スヘシ
 趣旨「中心」ヲ「労働者、農民」ノ政府
 是等ノ「部分的要求」ハ
 (三)有土地、沒收
 (三)官、大土地主、國家及寺院ノ所
 (士)反、労働者法ノ廢止
 (十)失業保險
 (九)八時間労働制

四五



945228

1603

ノ總意欲求ヲ反映セシメ指導部ニ於テ
 之ヲ統一スルタメ嚴格ニ民主的集中組
 織ニ據リ、黨ノ重要政策ハ其最終的決
 定前ニ於テ十分自由ニ論議シ得レトモ
 「一旦決定セル以上最早批判ヲ許サス、
 「プロレタリア」唯一ノ黨タル機能發
 揮シタメニ黨ノ基礎ヲ工場細胞ニ置キ
 工場細胞ハ一工場一細胞タルヘク今次
 ノ再組織ニ際シ先ツ第一ニ着手スヘキ
 ハ工場細胞ノ確立及工場細胞ヲ基礎ト
 シテ強固ナル黨ヲ大衆的規模ニ築上ル
 ニアリ、黨ハ其獨自ノ活動ヲ展開スル



945228

1604

I-0845

0450

タノ独自ノ中央機關紙ヲ持ッヘク機關
紙ハ壓服セラル労働者、鬭争スル勞
働者ノ利益ヲ主眼トシ「プロレタリア
革命」ノ指導的宣傳家タルヘシ、今日
ノ日本ニ於テハ日常活動ノ大部分ヲ非
合法的ニ遂行スル外ナキ状態ニ在ル
ヲ以テ些細ナル合法モ餘ス處ナク之
ヲ利用確保スルト同時ニ強固ナル非
法機關ヲ設ケ若干ノ同志ハ専門的
ニ從事スヘク、黨ハ其獨自活動ノ領
域ニ於テハ出來ル限リ合法性ヲ獲得
シ飽
迄之ヲ保持スヘク鬭争スルト共ニ非
合法



945228

1605

法活動トノ結合ニ努力シ二名以上ノ黨
員存在スル黨外大衆團體ニハ必ス黨
ヲラクシヨシ「確立シテ其行動中ニ
黨影響ヲ強メテ」實質的ニ指導スヘシ
トノ趣旨ノ組織「テ」セシ決定シ同年
十一月頃歸國シタルヲ以テ右派遣代表及
留守中央委員等十數名ハ同年十二月一日
日光山中ニ秘密報告會ヲ開キ「コミンタ
ン」ニ趣旨ニ決定ヲ承認シ其後右「テ」セシ
「セ」等ヲ作成シ黨ノ樹直一所謂再組織
ヲ行ヒ、労働者大衆ニ基礎ヲ置キ特ニ



945228

1606

I-0845

工場ヲ重要視シ工場細胞ヲ以テ黨ノ基礎
組織ト爲ス方針ノ下ニ黨ノ組織ヲ中央委
員會、地方委員會、地區委員會確立迄ノ
過渡的機關タル「キヤプテン」會議及細
胞ト爲シ民主主義的中央集權主義ニヨリ
下方ヨリ頻次上方ニ活動ヲ反映シ上級機
關ハ頻次其下級機關ヲ統制シ、労働組合
無產政黨等ノ大衆團體ニ「フラクシヨシ
ン」ヲ設ケ、中央常任委員ノ事務擔當ヲ定
メ、中央部ニ事務局並組織部、組合部、
「プロアジ」部等ノ専門部ヲ置キ、農民
組合部、「モツプル」委員會ヲ設ケ地方



945228

1607

委員會、「キヤプテン」會議、細胞及「
フラクシヨシ」ニ「キヤプテン」又ハ「
オルガナイザ」等ノ責任者ヲ置キ各其
組織内ノ統制及上下ノ聯絡ニ當ラシメ、
「レポーター」ニヨリ指令、機關紙其他
黨文書ノ傳達配付ヲ爲サシメ合法機關紙
無產者新聞ト相俟テ黨ノ存在及政策ノ宣
傳煽動並黨員獲得組織者タルコトヲ任務
トスル日本共產黨中央機關紙赤旗ヲ發行
スルト共ニ各地方委員會及細胞等ヲシテ
夫々同一目的ノ機關紙或ハ工場新聞ヲ發
行セシメ



945228

1608

I-0845

昭和三年二月施行ノ衆議院議員總選舉
ニ際シテハ選舉統制委員會ヲ置キ選舉
アシテハ當時ノ議會ヲ民衆ニ對スル壓
迫欺瞞ノ機關ナリトシ、共產黨ノ議會參
加理由ハ破壊スルコト並ニ國家機構ヲ其
内部ヨリ破壊スルコト並ニ議會内ノ鬭爭ハ
嚴格ニ外部ノ大衆鬭爭ニ從屬スヘク議會
ハ其鬭爭發展ノ補助的支點ナルヲ以テ
此支點ヲ占領スルコトニ在リト爲シ、共
産黨獨自ノ候補者ヲ立テ「ブルジョア」
政黨及民主主義者ノ政黨ト徹底的ニ鬭爭
ス



945228

1609

シ労働政黨ヲ支持スルト同時ニ共產黨ノ
獨立性ヲ確保シ、總選舉戰ニ日常鬭爭ヲ
結付ケテ之ヲ政治的「ストライキ」示威
運動等ニ組織シ労働組合、農民組合、消
費組合、青年婦人同盟、學生團體等ノ大
衆團體ヲ選舉戰ニ動員シ
(一)天皇ト結付イタ資本家地主ノ議
會ヲ破壊シ労働ノ民主的議會ヲ作
(二)大土地ヲ沒收セヨ
(三)労働大衆ハ日本共產黨ノ旗ノ下
ニ戦ヘ



945228

1610

I-0845

等ヲ「スローガン」トシテ鬭争スヘキ旨
ノ選舉方針書ヲ黨員ニ配付シ、一般大衆
ニ同黨ノ選舉方針ヲ示シ、聲明書ヲ出
シ、前記選舉統制委員會ニヨリ一切ノ選
舉鬭争ヲ統制シ選舉「アジター」トシテ
シテ凡ユル手段ニヨリ黨候補者ヲ應援ス
ルト同時ニ黨ノ政策ヲ宣傳煽動セシメ、
選舉「オールガナイザー」トシテ合法非合
法ノ會合ヲ組織シ黨政策ヲ宣傳煽動スル
諸般ノ準備ニ當ラシメ、各地方委員會ヲ
シテ選舉戰ヲ統制シ工場代表者會議、從
業員大會、農民大會等ヲ開催セシメ且選



945228

1611

舉中ニ限リ上申ノ手續ヲ經スシテ直ニ入
黨セシメ得ル權限ヲ附與シ、各細胞ヲシ
テ激化セシムル等要スルニヨリ工場内ノ鬭争ヲ
政治的影響及組織擴大ノ機會ニ利用シ、工
場細胞ノ充實、中心機關紙及地方機關紙
ノ充實、工場内ノ日常鬭争ノ激發、大工
場労働者ノ革命化、諸團體内ノ中央「フ
ラクション」ニビュ「ロ」組織ノ促進、大衆黨
對策、總選舉戰後ノ鬭争指導其他政治的
經濟的ノ凡ユル問題ヲ捉ヘ事ノ大小ヲ論



945228

1612

I-0845

口 大ニ全精力ヲ傾注シ來リシモノナルトコ
ノ宣傳煽動ヲ怠ラス依テ其組織影響ノ擴
ス公然日本共產黨ノ名ノ下ニ主義政策

被告入徳田球一ハ
大正九年判檢事第一回登用試験ニ合格シ
同十年二月辯護士ヲ開業セシモノナルカ
共產主義思想ヲ懷キ社會主義研究ノ目的
ヲ以テ水曜會ヲ組織シ實際運動ニ從事シ
同十一年二月頃同會代表トシテ日本
ミシタニ極東民族大會ニ出席シ日本
共產黨組織ノ命ヲ受ケテ歸國シ同年
五〇

七月被告入荒畑勝三等ト相謀リ前記第一
次日本共產黨ヲ組織シ其中中央委員タリシ
カ前記檢舉ニヨリ拘禁サレシモ後釋放サ
レ前記解黨後「ビエロ」ハ殘務整理サ
委員會ノ組織ニ參與シ被告入渡邊政之
輔、同杉浦啓一等ト左翼結成、第一次日
本共產黨事件ノ處理等ニ當リ上海滯在中
ノ被告入佐野學ト聯絡ヲ執リ同十四年一
月及五月ノ前記上海會議ニ孰レモ出席シ
一月「テ」セシ及五月「テ」セシヲ決定
シ其「テ」セシノ方針ニ基キ「コ」ミンタ
「ン」日本派遣員指導ノ下ニ前記ノ如ク



945228

1614



945228

1613

I-0845

口
也ス公然日本共産黨ノ名ノ下ニ主義政策
ノ宣傳煽動ヲ怠ラズ依テ其組織影響ノ擴
大ニ全精力ヲ傾注シ來リシモノナルトコ

被告入徳田球一ハ
大正九年判檢事第一回登用試験ニ合格シ
同十年二月辯護士ヲ開業セシモノナルカ
共產主義思想ヲ懷キ社會主義研究ノ目的
ヲ以テ水曜會ヲ組織シ實際運動ニ從事シ
同十一年二月頃同會代表トシテ日本
ミシタニ極東民族大會ニ出席シ日本
共産黨組織ノ命ヲ受ケテ歸國シ同十一年
五。

七月被告入荒畑勝三等ト相謀リ前記第一
次日本共産黨ヲ組織シ其中央委員タリシ
カ前記檢舉ニヨリ拘禁サレシモ後釋放サ
レ前記解黨後「ヒ」ニ拘禁サレシモ後釋放サ
委員會ノ組織ニ參與シ被告入渡邊政之
輔、同杉浦啓一等ト左翼結成、第一次日
本共産黨事件ノ處理等ニ當リ上海滯在中
ノ被告入佐野學ト聯絡ヲ執リ同十四年一
月及五月ノ前記上海會議ニ孰レモ出席シ
一月「テ」セシ及五月「テ」セシヲ決定
シ其「テ」セシノ方針ニ基キ「コ」ミンタ
「ン」日本派遣員指導ノ下ニ前記ノ如ク



945228

1614



945228

1613

I-0845

0455

「コムニストグループ」ノ形成、機關
新聞ノ發行準備其他諸般ノ活動ヲ爲シ前
記「コムニストグループ」ヲ組織シ爾
來第二次日本共產黨檢舉ニ至ル迄中央委
員長其他ノ要職ニ就キ其間第一次日本共
産黨事件ニ因リ禁錮十月ニ處セラレ昭和
二年一月六日満期放免トナリシモノナル
トコロ
第一、大正十四年八月初頃東京府豊多摩
郡落合町下落合被告佐野學方ニ於テ
秘密ニ前記確立會議ヲ開キ同被告及
被告入荒畑勝三、同北浦千太郎、同渡



945228

1615

邊政之輔、黨員間庭末吉等ト共謀シ前
記ノ如ク「コムニストグループ」ヲ
組織確立、組織「テ」セリ、政黨運動
「テ」テ「協」決定シ中央委員長ヲ命セラレ
他、同年八月ヨリ同年十二月迄ノ間東
京市淺草區須賀町二番地ノ被告入方ニ
於テ秘密ニ中央委員會ヲ開キ被告入佐
野學、同北浦千太郎、同渡邊政之輔等
ト共謀シ前記ノ如ク無產政黨運動ニ關
スル事項其他ヲ協議決定シ



945228

1616

I-0845

第三、同年十二月、中東京府荏原郡荏原町
 小山ノ被告人野坂参式方ニ於テ秘密ニ
 擴張「ヒューロー」會議ヲ開キ被告人
 佐野學、同渡邊政之輔、同荒畑勝三、
 同北浦千太郎、黨員間庭末吉ト共謀シ
 前記ノ如ク被告人ヲ「コムニスト」グ
 ル「プロパガンダ」代表トシテ「コムニ
 ス」ニ派遣スヘキコト其他ニ付協議決定シ
 被告人佐野學ト共ニ「コムニスト」シ
 勢報告書ヲ作成シ之ヲ携ヘテ同十五年

S 945228 1617

一月下旬頃「モスコ」ニ赴キ同年三
 月中旬頃迄ノ間同地ニ於テ開カレタル
 「コムニスト」間同地ニ於テ開カレタル
 小委員會「プロパガンダ」日本委員會、極東部
 ム「シ」諸會合ニ數回出席シテ右報告ヲ
 爲シ同委員等ト前記ノ如キ組織ヲ謂フモス
 コ「シ」同委員等ト前記ノ如キ組織ヲ謂フモス
 ヲ協議決定シ
 第四、同十五年六月頃群馬縣碓氷郡磯部
 町磯部鑛泉附近ノ碓氷河原ニ於テ秘密
 ニ開カレタル擴大「ヒューロー」會議
 ニ出席シ黨員市川正一、被告人中尾勝

S 945228 1618

I-0845

男、同河田賢治、同佐野文夫等ト共謀
シ前記ノ如キ「モスコ」テ「セ」
組織「テ」セ「」ノ承認及其實行ニ付協
議決定シ

第五

前記五色大會ニ於テ中央委員ニ任
命セラレ昭和二年一月中旬頃群馬縣草
津温泉某旅館ニ於テ秘密ニ開カレタル
中央委員總會ニ出席シ被告人福本和夫
同佐野文夫、同渡邊政之輔、同杉浦啓
一、同黨員市川正一、同三田村四郎等
共謀協議ノ上
一、前記大會決定事項ノ承認



945228

1619

二

前記ノ事由ヨリ黨代表トシテ被告
人渡邊政之輔、同佐野文夫、同福本
和夫及被告人ヲ「」コミンター「」ニ
派遣スルコト

三

代表派遣後ノ留守中央委員ヲ被告
人佐野學、同杉浦啓一、同志賀義雄
黨員三田村四郎、同國領五一郎トス

等

ヲ決定シ之ニ基キ同年三月中旬頃東
京ヲ出發シ同年四月下旬頃「モスコ」
「」ニ到着シ同地ニ於テ「」コミンター
「」ノ諸種ノ會合ニ出席シ前記批判ヲ受



945228

1620

I-0845

ケ活動ノ新方針ヲ授ケラレテ同年十二月二十日頃歸京シ
 第六、同三年一月中旬頃ヨリ同年二月末頃迄ノ間被告人南喜一、同唐澤清ハ、同淺野晃等ト被告人渡邊政之輔ノ委員長タル選舉統制委員會ノ構成員トナリ該期間中東京市内某所ニ於テ數回秘密會合シ右委員等ト共謀ノ上前記ノ如キ黨中央部ノ選舉方針ニ基キ選舉「オ」ルガナイザール「アジテーター」ノ活動

五



945228

1621

- 二、勞農黨中央「フラクション、ビュロー」ノ活動
- 三、選舉戰ニ於ケル黨活動ノ全國的統制
- 四、各候補者ニ附屬スル專任「オムカナイザール」ノ選定
- 五、專任「アジテーター」ノ選任
- 六、黨候補者ノ革命的勞働者農民ニ對スル演說ノ要旨
- 七、統制委員會ヨリ特派スル統制特派員ノ選任及其任務
- 八、選舉戰中ニ於ケル宣傳煽動ノ要旨



945228

1622

I-0845

0450

等ノ指令發布ニ關シテ協議決定シタル
上夫々之ヲ實行シ
第七、同年十二月下旬頃黨中央部ノ指
令ニ基キ被告人野坂參武、同門屋博等
ト「モツプル」ハ革命運動犠牲者救援
運動委員會ヲ組織シ其委員長トナリ
同年一月中旬頃ヨリ同月下旬頃迄ノ
間同市小石川區竹早町百番地被告人門
屋博方其他ニ於テ數回秘密ニ會合シ右
委員ト共謀ノ上「モツプル」ハ無産階
級運動ニ於ケル犠牲者及其家族ニ對ス
ル財政的、法律的援助及其基金募集運



945228

1623

動ヲ行フコトヲ目的トシ大衆的動員ニ
ヨリテ大衆ヲ階級闘争ニ参加セシムル
コト、黨員ハ合法的ニ存在スル解放運
動犠牲者救援會内ニ「フタクシヨン」
ヲ作り其運動ヲ支持發展セシムヘキ旨
ノ方針ヲ採ルコト、中央部ヲシテ其趣
旨ノ指令ヲ發セシムルコト等ヲ協議決
定シ
第八、同年二月五日頃ヨリ同月二十五日
頃迄ノ間黨員佐々木是延、同藤井哲夫
同愛甲勝矢等ト黨員豐原五郎ノ責任者
タル同黨九州地方委員會臨時選舉委員



945228

1624

I-0845

會ニ所屬シ該期間中福岡市、小倉市等
 ニ於テ秘密ニ開カレタル同委員會ニ數
 回出席シ各委員ト共謀ノ上前記ノ如キ
 選舉方針ニ基キ
 一、黨ノ公然化其他ノ黨活動ノ方針
 二、組合ノ左翼運動方針
 三、勞農黨内ニ於ケル左翼的活動方針
 其他ニ付協議決定シ
 第九、大正十四年八月頃ヨリ同年十二月
 末迄ノ間被告入渡邊政之輔、同北浦千
 太郎等ト街頭細胞ヲ組織シ其ノキヤ
 テン、トナリ該期間中前記被告人方ニ



945228 1625

於テ數回秘密ニ細胞會議ヲ開キ各細胞
 員ト共謀シ「グル」プロ會議ノ獲得、無
 產政黨ノ樹立ニ關シ政治研究會ヘ左
 翼進出運動、左翼労働組合、中間派勞
 働組合、農民組合等ニ於ケル前記「グ
 ル」プロ政策遂行其他ノ事項ニ付協
 議決定シ
 第十、昭和三年一月頃ヨリ同年三月頃迄
 ノ間被告入菊田善五郎ノ「キヤ」プロ
 「タル」石川島造船所ヲ目標トスル關東
 地方委員會所屬ノ所謂石川島造船所細
 胞ノ構成員トナリ



945228 1626

I-0845

第十一 大正十四年八月頃黨員高橋貞樹
同岸野重春、同年十月頃被告人志賀
義雄、同村尾薩男、同是枝恭二、其他
對シ前記被告人方其他、於テ何レモ
コ、ニスト、グル、フ、ニ、加入ノ勸誘

被告佐野學ハ
大正六年東京帝國大學法科大學ヲ卒業
セシモノナルカ其在學中社會主義思想ヲ懷
キ卒業後新人會ノ創立、全國坑夫組合ノ
組織、水平社ノ創立等ノ實際運動ニ參與
シ居ル中漸次共產主義ニ傾キ同十一年七

頃被告人荒畑勝三ノ勸誘ニ應シテ第一
次日本共產黨ニ加入シ其常任委員タリシ
カ翌十二年六月ノ檢舉ヲ豫期シ同黨中央
委員會ノ決定ニ遵ヒ荒畑勝三外數名ノ同
ヲ根據トシテ被告人荒畑勝三外數名ノ同
志ト同黨ノ再建其他ニ付活動セシ後同黨
代表トシテ東洋部長トカリ其第五回大會
列シ翌十三年九月コ、ミ、ン、タ、イ、ン、
日本共產黨再建ノ指令ヲ受ケテ上海ニ到
リ日本内地ノ同志ト聯絡ヲ執リ解黨反對
ヲ強調シ黨再建ノタメ策動シ、コ、ミ、ン、タ、

S 945228 1628

S 945228 1627

I-0845

第十一 大正十四年八月頃黨員高橋貞樹
同岸野重春、同年十月頃被告人志賀
義雄、同村尾薩男、同是枝恭二、其他
對シ前記被告人方其他、於テ何レモ
コ、ニスト、グル、フ、ニ、加入ノ
ヲ爲シ

被告人佐野學ハ
大正六年東京帝國大學法科大學ヲ卒業
セシモノナルカ其在學中社會主義思想ヲ懷
キ卒業後新人會ノ創立、全國坑夫組合ノ
組織、水平社ノ創立等ノ實際運動ニ參與
シ居ル中漸次共產主義ニ傾キ同十一年七

月頃被告人荒畑勝三ノ勸誘ニ應シテ第一
次日本共產黨ニ加入シ其常任委員タリシ
カ翌十二年六月ノ檢舉ヲ豫期シ同黨中央
委員會ノ決定ニ遵ヒ荒畑勝三外數名ノ同
ヲ根據トシテ被告人荒畑勝三外數名ノ同
志ト同黨ノ再建其他ニ付活動セム後同黨
代表トシテ東洋部員トナリ其第五回大會
列シ翌十三年九月コミシタリシヨリ
日本共產黨再建ノ指令ヲ受ケテ上海ニ到
リ日本内地ノ同志ト聯絡ヲ執リ解黨反對
ヲ強調シ黨再建ノタメ策動シ「コミンタ

S 945228 1628

S 945228 1627

I-0845

代表者ト協議シ上其翌十四年一月及五月
ノ前記上海會合ヲ幹旋シ上海一月及五月
セシ及同五月フテセシノ決定ニ參加シ
同年七月内地ニ歸リ被告ハ荒畑勝三、同
徳田球一其他ノ者ト共謀シテ前記「グル
コ」ミシタリ確立シ其中央委員トシテ爾來「
再建其他諸般ノ活動ヲ爲シ居ル中第一次
日本共產黨事件ニヨリ禁錮十月ニ處セラ
レ翌十五年三月其刑ノ執行ヲ受ケ昭和二
年一月一日満期放免トナリシカ其後中央



945228

1629

委員、無産者新聞主筆トシテ黨ノ樞機ニ
參與セシモノナルトコロ
第一、大正十四年八月初頃東京府豊多摩
郡落合町下落合ノ被被告人方ニ於テ秘密
ニ開カレタル前記確立會議ニ於テ被告
人荒畑勝三、同徳田球一、同北浦千太
郎、共謀シ前記被告人徳田球一第一所載ノ
如ク「コム」ニスト、グル「政治運動」組織
確立「組織」テ「政治運動」組織
協議決定シ機關新聞主筆ヲ命セラレ



945228

1630

I-0845

0405

第二、
員在任中

一、同年十二月、前記在任中、
告人野坂參式方、於テ秘密ニ開カレ
タル被、告人徳田球一、同渡邊政之輔、
同荒畑勝三、同北浦千太郎、黨員間
庭末吉ト共謀ノ上前記被、告人徳田球
一、第一三所載ノ如ク同被、告人ヲ「ビユ
ロ」ニ派遣スルコト其他ヲ協議決定シ
二、尚右「ビユロ」ニ確立會議後其

S 945228 1631

第三、
如ク諸般ノ活動ヲ試ミ殊ニ前掲確立

翌十五年二月末頃迄ノ間前記被、告人
徳田球一方又ハ前記下落合ノ被、告人
方ニ於テ秘密ニ要廣大「ビユロ」
會議又ハ中央委員等ト共謀シ前記ノ如ク無
ノ中央委員等ト共謀シ前記ノ如ク無
産政黨運動、労働組合運動、青年運
動、機關新聞、對支問題、失業運
動、對議會政策其他諸般ノ問題ニ付
協議シ其決定ニ基キ夫々前記ノ如ク
對策ヲ講シ・

S 945228 1632

I-0845

會議ノ際、政治「テーゼ」ノ作成、
 コミスター「ハノ派遣代表者被告人
 徳田球一カ携帶スヘキ政治經濟及無產
 階級運動情勢報告書ノ作成ヲ擔當シ、
 同人不在中中央委員長ノ職務ヲ代行シ
 無產者新聞主筆トシテ同新聞ノ發行其
 他ノ事務ヲ擔當シテ東京市芝區南佐久
 間町二丁目十八番地ニ同新聞社ヲ設ケ
 同十四年九月二十日創刊號ヲ發行シ爾
 來前記「ヒュウロク」ノ指令方針ノ下
 ニ社説又ハ記事ヲ掲載シ
 第四、前記五色大會ニ於テ中央委員ニ、

S 945228 1633

小野川温泉ノ中央委員會ニ於テ無產者
 新聞主筆ニ任命セラレシカ
 一、昭和二年四月頃東京府北豐島郡西
 巢鴨町大塚驛附近某方ニ於テ秘密ニ
 開カレタル中央委員會ニ出席シ被告
 人杉浦啓一、同志賀義雄、黨員市川
 正一、同國領五一郎、同三田村四郎
 等ト共謀ノ上
 (一)觀念論的理論鬭爭ヲ排シ議會解
 散ヲ請願運動、對支非干涉運動等ヲ
 展開スヘキコト
 (二)勞農總聯合問題ニ付テハ勞働組

S 945228 1634

I-0845

合及農民組合ハ夫々各自ノ統一ニ
向ツテ進ムヘキコト

等ヲ協議決定シ

二、同年八月九日頃同府豊多摩郡中野

町ノ被訴人淺野晃方ニ於テ秘密ニ開

カレタル擴大中央委員會ニ於テ前項

各被訴人及各黨員ト共謀シテ議會解

散請願運動展開ノタメ

(一) 労働者ニ食ト仕事ヲ與ヘヨ

(二) 労働者ニ土地ヲ保證セヨ

(三) 凡テ人民ニ自由ヲ與ヘヨ

(四) 議會ヲ解散セヨ

六一

ヲ中心トスローガントシテ採用シ
且労働者、農民、青年ノ各要求其他
ヲ「スローガン」化スルコト其他ヲ

協議決定シ

三、無産者新聞主筆トシテ同年四月頃

ヨリ同年十一月頃迄ノ間前記留守中

央常任委員會ノ指令ニ遵ヒ日本共産

黨ノ主義政策ヲ宣傳煽動スル諸般ノ

論說、記事ヲ同新聞ニ掲載發表シ

第五、同年七月頃「コミンタール」ニ於

テ日本共産黨中央常任委員ニ銓衡セラ



945228

1636



945228

1635

I-0845

0468

一、「トコミンタイン」派遣代表歸還後
 同年十一月、中東京市牛込區若松町、
 黨員市川正一、方、於テ祕密ニ開カレ
 タル會合ニ數回出席シ、同人及被
 渡邊政之輔、黨員鍋山貞親等ト共謀
 シテ「トコミンタイン」新方針ヲ徹
 底的ニ討議シ、上之カ報告書ヲ作成シ
 テ各細胞ニ報告シ、工場細胞ヲ基礎
 トスル黨再組織ノ準備及非合法機關
 紙赤旗發行ノ技術的準備ヲ爲シ、委員
 會ヲ設ケテ言論並實際方面ニ互ニ福
 本主義ヲ清算スヘキコト等ヲ協議決

S 945228 1637

二、同年十二月上旬前記日光山中ノ報
 告會ニ留守中央委員ノ一人トシテ出
 席シ、派遣代表タル被告人渡邊政之輔
 同佐野文夫、同福本和夫、同中尾勝
 男、黨員河合悦三、留守中央部關係
 者被告八志賀義雄、同杉浦啓一、同
 水野成夫、黨員市川正一、同三田村
 四郎、同國領五郎其他ト共謀ノ上
 右河合悦三ヲ見張番トシテ祕密ニ會
 議ヲ開キ留守中央部責任者タル右市
 川正一ヨリ留守中ニ於ケル諸般ノ報

S 945228 1638

I-0845

告ヲ爲シ被告入渡邊政之輔派遣代表
 トシテ「コミンタール」決議ノ内容
 ヲ報告シテ討論ニ入リ
 (一)「コミンタール」ノ方針ヲ全部
 的ニ承認スルコト
 (二)黨ハ一致團結シ鐵ノ如キ規律ヲ
 以テ直ニ右方針ヲ實踐ニ於テ展開
 シ大衆ヲ獲得スルコト
 ヲ決議シ「コミンタール」銓衡ノ役
 員ヲ承認シ
 三、其後前記市川正一方ニ於テ秘密ニ
 開カレタル中央常任委員會ニ數回出



945228

1639

席シ同人及被告人渡邊政之輔、黨員
 鍋山貞親ト共謀シテ
 (一)黨再組織ノ件
 (二)報告書作成ノ件
 (三)新方針ヲ細胞ニ報告ノ件
 (四)當面ノ政策起草ノ件
 (五)黨大會準備ノ件
 其他ニ付協議シ
 (一)部長ヲ被ハ中央委員長ヲ被告人
 組織部長ヲ被告入渡邊政之輔、組合
 部長ヲ黨員鍋山貞親、「プロアジ」被
 部長ヲ同市川正一、事務局主任ヲ被



945228

1640

I-0845

告人水野成夫、印刷局主任ヲ同齋藤
久雄トシ尚各専門部所屬員ヲ定メ地
方委員會ヲ關東、關西、信越、北海
道、九州ノ五トシ其各委員長ヲ任命
シ、勞農黨、評議會、農民組合ニ各中
央ヲフラクシヨシ、ビユローシヲ
設ケテ其構成員ヲ任命シ、組織會議ヲ
設ケテ黨ノ樹直、工場細胞又ハ其準
備會ノ構成、中央ヲフラクシヨシ、
ビユローシヲ成、黨機關紙發行
其他ニ付計議セシメ、黨機關係紙發行
(二)ニ付テハ被告人渡邊政之輔起案



945228

1641

ノ報告書(報告の要点、昭和三年押
第四四二號ノ三三二四)ヲ承認シ
中尾勝男、黨員三田村四郎、同鍋山
貞親ヲシテ同年十二月中各細胞ニ右
新方針ヲ説明セシメ、黨員市川正一カ
テ、ゼ、シ、ノ前文(日本共產黨の政治
諸君ニ檄ス)の公表に當リ革命的政治
カ政治及組織ヲテ、被被告人渡邊政
山貞親カ組合「テ、ゼ、シ、」被被告人



945228

1642

I-0845

カ當面ノ政策（同上、一七九九ノ中）
 ヲ各分擔起草シ
 月トシテハ大會期日ヲ昭和三年三
 キ議案其他ヲ決定シ被告人ハ政治
 テ一セシテ分擔起草シ
 第六、昭和三年一月以降同年三月十日迄
 ノ間東京市京橋區南鞘町ノ被告人渡邊
 政之輔方ニ於テ秘密ニ開カレタル常任
 委員會ニ數回出席シ同被告人、黨員鍋
 山貞親、同市川正一等ノ常任委員ト共
 謀シテ

室

一、黨中央部所屬農民組合部ノ構成並
 其所屬員ヲ定メ被告人其部長トナリ
 二、前記被告人徳田球一第七所載ノ如
 キ「モツプル」委員會ノ設置ヲ決定
 シ其「テ一ゼ」ル（同上、二七九八）ヲ
 作成シ
 三、臺灣共產主義者「グループ」ノ政治
 「テ一ゼ」ル（同上、三三二四）、組織
 形成ノ指令ヲ決定シ同「グループ」
 四、衆議院議員總選舉ニ付テハ日本現
 在ノ議會ヲ解剖シ共產黨ハ選舉參加



945228

1644



945228

1643

I-0845

理由ヲ明カニスルタメ前記方針書ヲ
 全黨員ニ配付シ聲明書ヲ發シテ一
 般大衆ニ黨ノ選舉方針ヲ示シタル外
 多數ノ指令ヲ下シ選舉統制委員會
 選舉ヲアシテ一タリ選舉ヲオル
 ガナイザリ等ノ臨時機關ヲ設ケ
 五、黨大會ニ付議スヘキ政治ヲテ一ゼ
 組織ヲテ一ゼ、組合ヲテ一ゼ
 九七(同上)九〇九〇ニ九一〇ニ七
 九七(同上)九〇九〇ニ九一〇ニ七
 六、黨中央機關紙赤旗ノ論文記事ヲ決



945228

1645

定シ其第一號ノ「創刊の辭」二月
 十一日に全國に労働者貧農の大衆大
 示威運動を組織せよ、第二號ノ「
 黨の再々捕縛された朝鮮共產黨員に
 ノ「再々捕縛された朝鮮共產黨員に
 對する大衆的解放運動をおこせ」
 勞農一派に對する我黨の態度を聲明
 す、第四號ノ「無産黨議員團の設
 立と左翼大衆の任務」ナル各論文記
 事ヲ執筆シ
 七、前記黨大會場所ノ選定、臺灣共產
 主義者「グループ」ノ創立ニ關スル事



945228

1646

I-0845

第七、昭和二一年十二月ノ黨再組織後其指
令方針ニ則リ被告ノ主筆タル前記無
産者新聞ニ黨ノ政策方針ヲ宣傳煽動ス
ルト共ニ勞農政黨及組合等ニ於ケル福
本主義ノ誤謬ヲ矯正シ且總選舉ニ付黨
候補者及黨方針ヲ全國的ニ宣傳煽動ス
ル諸般ノ社説ヲ掲載シ
第八、同三年二月中前記渡邊政之輔方ニ
於テ秘密ニ第二回組織會議ヲ開キ被告



945228

1647

人中尾勝男（關東地方委員長）、黨員
春日庄次郎（關西地方委員長）、同藤
井哲夫（九州地方委員長）、同河合悦
三（信越地方委員長）、同三田村四郎
（北海道地方委員長）等各地地方委員長及
被告人渡邊政之輔ト共謀シ工場細胞ノ
充實、中央機關紙ヲ充實シテ組織者タ
ル使命ヲ十分發揮セシムルコト、黨ノ
宣傳的統一ノ下ニ於ケル地方機關紙ノ
充實、工場内ノ日常闘争ノ激發殊ニ太
工場ノ労働者ニ對スル宣傳煽動ヲ盛ニ
シテ之ヲ革命化スルコト、農民團體勞



945228

1648

I-0845



1650



1649

動ニ動員シ、工場細胞ノ残存スル工場
ノ從業員大會ヲ開キ指導者奪還ノ必要
ヲ宣傳煽動シ赤旗及無産者新聞ヲ休刊
スヘカラサル旨申送り汎太平洋労働
組合會議、支那共產黨、支那一モツ
ルシノ各機關紙ニ日本共產黨檢舉抗議
記事ヲ掲載セシメ翌四月右邊政之輔
ニ對シ更ニ當分宣傳ヨリモ組織ニ活動
ノ重點ヲ置クヘキ旨申送り同年五月
濟南事件勃發スルヤ支那共產黨中央部
ト相謀リ日本ノ田中政府ハ國內ニ於テ
ハ日本共產黨ヲ壓迫シ左翼大衆團體ヲ



945228

1651

解散シ支那ニ對シテハ暴力ヲ振フカ故
ニ曰支労働者ハ團結シテ日本帝國主義
ト鬭争スヘキ旨ノ曰支共產黨共同宣言
ヲ出シ汎太平洋労働會議機關紙「フ
ァー、イー、スト」ニ日本共產黨ニ對ス
ル大衆的捕縛ニ抗議シ太平洋沿岸ノ勞
働者ハ奮起スヘキ旨ノ聲明書ヲ掲載セ
シメ以テ右檢舉反抗ノ氣勢ヲ煽リ
第十一年四月末頃日本共產黨代表團長
トシテ「コミンタール」第六回大會ニ
出席ノ命ヲ受ケ上海ヨリ「モスクワ」
ニ赴キ「コミンタール」本部及「プロ



945228

1652

I-0845

フイスターン本部ニ對シ各日本共產
黨ノ再組織狀態、黨ノ政策、檢舉ノ狀
況、労働組合運動、情勢等ヲ報告シ、
代表黨員市川正一、同山本懸藏、同高
橋貞樹等ト共ニ夫々擔任ヲ定メ同年七
月十五日ヨリ同年九月二日ニ互ルコ
ミンターン大會ニ於テ政治問題其他
ノ討議ニ參加シ大會ニ執行委員、常
任委員ニ選任セラレ右大會期間中右代
表者等ト共謀シ日本共產黨ノ新方針ニ
付協議シ
黨ハ門戸ヲ開放シテ黨綱領ヲ承認
ト。



945228

1653

シ黨費ヲ納メ黨決議ニ遵ヒ何等カノ
機關ニ於テ働ク者殊ニ主トシテ工場
労働者ヲ黨員ニ獲得シ工場細胞建
設ニ全力ヲ注ギ左翼労働組合ノ組織
評議會ノ再建、未組織労働者ノ組織
組合ノ發達及右翼組合牽制ノタメ
工場委員會設置、組合内門ラクメシ
ヨシ運動ヲ確立等ノ方針ヲ採リ、産業別
合同運動ヲ繼續シ三一五事件後黨方
針ニ則リ設ケラレタル労働協議會ヲ
發展セシメ農民組合ニ左翼的勢力ヲ
ヲ強メ農民ヲフラクシヨシヲ作り



945228

1654

I-0845

「一錢ノ租税モ出スナ一錢ノ小作料
モ出スナトノ如キ「スロ「カシ
ヲ揚ケシメ、宣傳煽動ニ付テハ労働
者ニ對シ帝國主義戦争又ハ國家問題
等ヲ平易ニ説明シ「デモンストレ
ーシヨシハ街頭ノ一時占領ニヨリ
労働者ノ實力ヲ示シ革命ノ際ニ於ケ
ル市街戦ノ練習トモナルカ故ニ「メ
ルデ「其他組合ノ協定必要ナル
場合ハ別政治的必行シ、労働者ハ工
場ノ許否ヲ問ハス實行シ、労働者ハ工
場ノハエ場細胞ヲ通シテ労働者ハ工



945228

1655

ヨリ其家族等ハ住宅ヨリ直ニ街頭ニ
出動セシムヘシ
トノ趣旨ノ日本共産黨當面ノ任務ニ關
スル「ター「ン「セ「ラ「作「成「シ「同「年「十「月「コ
ミ「ン「タ「ー「ン「シ「常「任「委「員「會「ノ「承「認「ヲ「得「
第十一、前記検査ノ打擊補充ノタメ同年
十一月、十一月頃在「モ「ス「コ「
ハ「黨「ノ「命「令「ニ「服「シ「指「定「ノ「地「位「ニ「就「キ「黨
員トシテ活動スヘキ旨ヲ諭示シテ歸國
セシメ

第十二、尚黨大會ニ付議スヘキ「テ「
第十



945228

1656

I-0845

04:08

記ノ活動ヲ爲シテ歸國シ前記解黨決議並
 在シ同地ニ逃避中ノ被哲人佐野學等ト前
 カ黨員大檢舉ノ報ニ接シ同年八月
 中モスコリニ出發シ途中暫ク浦鹽ニ滞
 ノ第三インタナショナルニ赴キシ
 第一就任シ其後黨代表トシテモスコ
 西一年革命ノ頃ヨリ共產主義思想ニ移リ同
 十一年被告ノ頃ヨリ共產主義思想ニ移リ同
 被豫テ社會主義思想ヲ懷キシカ大正六年露
 地區石川島造船所細胞ニ所屬シ
 第十三月同二年五月頃ヨリ同年十二月頃
 迄黨員曾田英宗ノキヤフテンタル
 關東地方委員會所屬ノ細胞ニ同年十二月
 月及翌三年一月中被哲人菊田善五郎
 ノキヤフテンタル同地方委員會
 第六日支那官憲ニ逮捕セラルル迄ノ間同
 產者新聞社宛ニ發送シ爾來同年六月十
 下旬前記第十項所載ノ「テ」セ「ヲ」無
 發シ同年四月十四日上海ニ着シ同月
 和三年十二月三十日「モ」ス「コ」リ「ヲ」出
 下ノ作成其他黨大會ノ準備ニ從事シ昭



945228

1658



945228

1657

I-0845

ノ作成其他黨大會ノ準備ニ從事シ昭
和三年十二月三十日「モスコ」ヲ出
發シ同年三月十四日上海ニ着シ同月
下旬前記第十項所載ノ「テ」セ「ラ」無
產者新聞社宛ニ發送セ「ル」來同年六月十
六日支那官憲ニ逮捕セ「ル」迄ノ間同
地ニ於テ黨大會其他ニ付策動シ
第十三、同年五月頃ヨリ同年十二月頃
迄黨員曾田英宗ノ「キ」ヤ「フ」テン「タ」ル
關東地方委員會所屬ノ細胞ニ同年十二
月及翌三年一月中被告人菊田善五郎
「ヤ」「フ」テン「タ」ル同地方委員會

S 945228 1657

地區「石川島造船所細胞」ニ所屬シ
被告人荒畑勝三ハ
豫テ社會主義思想ヲ懷キシカ大正六年露
西亞革命ノ頃ヨリ共產主義思想ニ移リ同
十一年被告人徳田球一等ト相謀リ前記ノ
第一次日本共產黨ヲ組織シテ其中中央委員
ニ就任シ其後黨代表トシテ「モスコ」ニ
ノ第三「イン」タ「ナ」シヨナル「」ニ赴キシ
カ黨員大檢舉ノ報ニ接シ同年八月
「モスコ」ニ出發シ途中暫ク浦鹽ニ滞
在シ同地ニ逃避中ノ被告人佐野學等ト前
記ノ活動ヲ爲シテ歸國シ前記解黨決議

S 945228 1658

I-0845

「ビュロー」ノ設立ニ參與シテ其一員トナリ同十三年三月上海ニ赴キ同地滞在ヲ爲シタタコロン代表者ニ解黨ノ報告員再建ヲ指示セシメテ歸リ「ビュロー」員一月前記ノ如ク被告報告シ越エテ翌十四年一月同野文夫等ト上海ニ會合シテ前記上海一月「野」等ト決定シ右野學「德田球一」組織シ爾來其中央委員、關西地方委員長ノ要職ニ就キ其間大正十五年八月前



945228

1659

記日本共產黨事件ニ因リ禁錮十月ニ處セラレテ刑ノ執行ヲ受ケ昭和二年一月十一日滿期放免トナリシカ前記五色大會ニ於テ統制委員長ニ選任セラレ「コシモ」ニ於テ中央委員ニ銓衡セラレ「シモ」同三年二月除名セラレシモノナルトコロ第一、大正十四年八月初旬頃東京府豊多摩郡落合町下落合ノ被告佐野學方ニ於テ秘密ニ開カレタル前記確立會議ニ出席シ同被告及被告前記「德田球一」同北浦千太郎、同渡邊政之輔、黨員間庭末吉等ト共謀ノ上前記被告人「德田球一」



945228

1660

I-0845

第一、所載ノ如ク「コムニスト、グループ」
組合ノ組織確立、政治運動ヲ行セシメ
スル協議決定ヲ爲シ、機關紙ノ發行等ニ關
ニ任命セラレテ大阪ニ赴任シ同地方委員長
於ケル労働運動ノ一般情勢ヲ調査シ又
無産者新聞ノ局員トナリ
第二、同年十二月上旬頃前記被告人野坂
參式方ニ於テ秘密ニ開カレタル擴大「
ビニロ」會議ニ出席シ被告人佐野
學、同徳田球一、同渡邊政之輔、同北
浦千太郎、同佐野文夫、黨員間庭末吉

S 945228 1661

等ト共謀シテ前記被告人徳田球一第三
所載ノ如ク同被告人ヲ代表トシテ「コ
ミンタ」ニ派遣スルコト其他ニ付
第三、同年八月、鍋山貞親ヲ「グループ」
被入員トシテ「ビニロ」ニ推薦シ
被告人佐野文夫ハ
東京帝國大學文科大學中途退學者ナルカ
豫テ社會科學研究ノ結果共產主義ヲ信奉
スルニ至リシ際大正十二年四月頃勸
誘ヲ受ケテ前記ノ第一次日本共產黨ニ加
入シ其解黨ト共ニ「ビニロ」ニ殘務

S 945228 1662

I-0845

第一、所載ノ如ク「コムニスト、グループ」
組合ノ組織確立、政治運動「テ」セル
スル協定ヲ為シ、機關紙ノ發行等ニ關
ニ任命セラレテ大阪ニ赴任シ同地方委員長
於ケル労働運動ノ一般情勢ヲ調査シ又
無産者新聞ノ局員トナリ
第二、同年十二月月上旬頃前記被告人野坂
參式方ニ於テ秘密ニ開カレタル擴大野
比ユ「ワ」リ會議ニ出席シ被告人佐野
學、同徳田球一、同渡邊政之輔、同北
浦千太郎、同佐野文夫、黨員間庭末吉



945228

1661

等ト共謀シテ前記被告人徳田球一第三
所載ノ如ク同被告人ヲ代表トシテ「コ
ミ」ンタ「ン」ニ派遣スルコト其他ニ付
協議決定シ
第三、同年八月鍋山貞親ヲ「グループ」
被「ル」買「ト」シテ「ヒ」ユ「ロ」ニ推薦シ
東京帝國大學文科大学中途退學者ナルカ
豫テ社會科學研究ノ結果共產主義ヲ信奉
スルニ至リシ際大正十二年四月頃勸
誘ヲ受ケテ前記ノ第一次日本共產黨ニ加
入シ其解黨ト共ニ「ヒ」ユ「ロ」ニ殘務



945228

1662

I-0845

整理委員會ノ構成員トナリ同十四年一月
月前記上海一月「テ」ビ「ロ」ノ決定ニ參與
シ其後間モナク「人」徳「球」一「ロ」ノ脱退シ
同年八月頃被告「人」徳「球」一「ロ」ノ脱退シ
「密」結社ナルコト「知」リナカ「ラ」前記ニ如キ
シ其翌十五年五月下旬頃其中央部員トナ
リ以來第二次日本共產黨時代ヲ通シ常任
委員、政治部長、「セ」ネ「ラ」ル、セ「ク」レ「タ
リ」ル（中央委員長）等ノ要職ニ就キ「
コ」ミ「ン」タ「ン」日本派遣員ノ指導下ニ黨
ノ重要活動ニ關與セシモノナルトコロ



945228

1663

第一 同十四年十二月ノ前記擴大「ビ」ユ
「ロ」ル總會ニ出席シ被告「人」徳「球」一
同北浦千太郎、同荒畑勝三、同佐野學
黨員間庭末吉等ト共謀シテ前記被告「人
徳「球」一第三所載ノ如ク「モ」ス「コ」ル
ヘ代表派遣ノ件其他ヲ協議決定シ「
第二 同十五年五月中央委員ニ任命セラ
レテヨリ同年十二月ノ五色大會迄ノ間
東京府荏原郡調布町丸子主川丸子園、
埼玉縣新井町附近ノ江戸川堤防其他ニ
於テ秘密ニ開カレタル中央委員會、中
央委員總會、政治部會等ノ諸會合ニ屢



945228

1664

I-0845

出席シ

- 一、中央委員補充ニ關スル件
- 二、中央委員會組織ノ所屬ニ關スル件
- 三、關東關西兩地方委員會設置ノ件
- 四、前記無產政黨問題對策
- 五、前記労働組合運動
- 六、前記議會問題
- 七、前記被告人徳田球一ノ齎シタル「モエコ」テ「セ」ノ承認
- 八、其他ニ付協議決定シ同年六月政治部長ニ任命セラレ

共

- 第三、同年九月頃東京府北豐島郡赤塚村成増驛附近ノ鬼月園ニ於テ秘密ニ開カレタル擴大委員會ニ於テ黨大會ニ提出スヘキ議案作成等ノタメノ特別委員ニ任命セラレ
- 一、其後同年十一月下旬頃迄ノ間前記鬼月園ノ群馬縣伊香保温泉某旅館、箱根千石原及塔ノ澤温泉ノ某旅館、他ニ於テ前後數回秘密ニ特別委員會ヲ開キ委員タル被告八邊政之輔、同北浦千太郎、同福本和夫等ト共謀



945228

1666



945228

1665

I-0845

(一) 黨ノ宣言、組織規約、政治運動方針及労働運動方針、農民運動方針、當面ノ政治經濟情勢ノ起草分擔ヲ定メ組織規約、農民運動方針起草ヲ擔任シ

(二) 大會ノ期日ヲ大正十五年十二月四日トシ

(三) 大會地ノ選定其他大會開催ノ技術的諸準備ノタメ大會準備委員會ヲ組織シ被告ノ門屋博、同菊田善五郎、同松尾直義ヲ其委員ニ任命シ



945228

1667

(四) 出席代議員ノ數ヲ定メ之カ人選ヲ爲シ

(五) 大會準備委員會ノ報告ニ基キ大會ノ場所ヲ前記五色温泉京川旅館トシ大會ニ於テ使用スヘキ隱語其他ヲ定メ

(六) 大會ニ於テ選任スヘキ中央委員同候補者ヲ銓衡シ中央部ノ組織ヲ定メ

二、同年十二月三日午前記穴原温泉某旅館ノ秘密會合ニ於テ被告ノ渡邊政之輔、同福本和夫、同中尾勝男ト共謀



945228

1668

I-0845

0485

協議、上右特別委員會ノ決定セル議案其他ヲ承認スルコト玆大會ノ議事日程其他ヲ決定シ

第四、其翌十二月四日被告人渡邊政之輔同福本和夫、同中尾勝男等十六名ト共謀、上右記五色温泉宗川旅館ニ於テ極秘裏ニ黨大會ヲ開キ議長トシテ開會ヲ宣シ中央委員會活動ノ狀況ヲ報告シ議事日程ヲ諮リ警備委員ヲ置キテ議事ノ進行ヲ統制シ前記ノ宣言、規約、議案、組合運動方針ヲ付議シ規約原案ノ説明ニ當リ満場一致ノ付議シ規約原案ニ役員ノ

S 945228 1669

選舉ニ移リ原案ノ通り被告人及被告人渡邊政之輔、同佐野學、同福本和夫、同渡邊政之輔、黨員市川正一、同鍋山貞親、中央委員ニ被告人中尾勝男、同杉浦格、一、黨員三田村四郎、同國領五一郎、同河合悦三ヲ中央委員候補者ニ被、告人荒畑勝三ヲ統制委員長ニ選任シ於テ秘密ニ大會後第一回ノ新中央委員會議ヲ開キ被告人渡邊政之輔、同中尾勝男、同中尾勝男、黨員三田村四郎ト共和謀協議ノ上

S 945228 1670

I-0845

一、中央委員鍋山貞親不在＝付黨員三
田村四郎ヲ、同中央委員佐野學、德
田球一、市川正一受刑中＝付其出獄
迄被告人中尾勝男ヲ各正中央委員ト
シ、
二、各中央委員ノ分擔事務ヲ定メ被告
人ヲ中央委員長＝、被告人渡邊政之
輔ヲ組織部長＝、同福本和夫ヲ政治
部長＝、同佐野學ヲ無產者新聞主筆
＝各任命シ
三、專門部委員會ノ設置其他擔任者ヲ
定メ被告人ヲ農民部委員長＝、被告
光



945228

1671

人福本和夫ヲ宣傳部、政黨部ノ各委
員長＝、同佐野學ヲ機關紙編輯部委
員長＝、同渡邊政之輔ヲ組合格部委員
長＝各任命シ
第六、同年十二月中旬東京市内某所ノ黨
事務局ニ於テ秘密ニ開カレタル常任委
員會ニ於テ被告人渡邊政之輔、同福本
和夫ト共謀ノ上黨大會ノ報告並黨内對
立意見解決ノタメ先ツ中央委員被告
中尾勝男、同候補者河合悦三兩名ヲ
コミンターシシハ派遣ノ件ヲ決定シ越
エテ翌昭和二年一月中旬群馬縣草津温



945228

1672

I-0845

0400

等ルコト及其擔任事務
 某カ決定シ同月下旬頃上野公園山下ノ
 事務引継ヲ爲シ同三月四日東京ヲ
 出發同年四月下旬頃モスコウニ
 到着シ同年四月下旬頃モスコウニ
 諸種ノ會合ニ於テ前記ノ批判ヲ受ケ
 動ノ新方針ヲ授ケテ前記ノ同年七月末頃
 五、六日頃歸京シ其翌十二月下旬光
 山中ノ報告會ニ出席シテ前記ノ協議決
 定ヲ爲シ



945228

1674

泉某旅館ニ於テ中央委員總會ヲ開キ被
 告人福本和夫、同渡邊政之輔、同德
 球一、同杉浦啓一、同渡邊政之輔、同
 三田村四郎、同杉浦啓一、同渡邊政之
 一、前記大會決定事項ノ承認
 二、前記大會決定事項ノ承認
 人渡邊政之輔、同德田球一、同福本
 和夫及被告訴人ヲコミシテ同福本
 三、代表派遣スルコトヲ留守中央委員
 人佐野學、同杉浦啓一、同志賀義雄
 黨員三田村四郎、同國領五一郎トス



945228

1673

I-0845

0489

第七

一、大正十四年八月ヨリ同年九月初頃迄、間被ト告人佐野學外一名ノ「グ」ル雄、其後同年十二月迄、間被ト告人西雅シ、該期間中東京府豊多摩郡代々幡町シ、密谷笹塚ノ右西雅雄方ニ於テ數回秘密ニ細胞會議ヲ開キ、右細胞員ト數回無黨指令ニ則リ、無黨者新聞ノ無黨政黨ノ性質、任務、無黨政黨ノ説



945228

1675

三、同十五年六月頃ヨリ同年九月頃迄、間被ト告人西雅雄、同福本和夫等ト共ニ被ト告人水野成夫、前記西雅雄方及

同所被ト告人方ニ於テ秘密ニ開カレタル細胞會議ニ數回出席シ、右細胞員ト共謀ノ上無黨政黨問題、労働農民黨ノ門戸開放運動等「グ」ル「フ」ルノ具體的指導方針ニ密接ノ關係アル事項ニ付協議シ



945228

1676

四、昭和三年一月半頃ヨリ同年三月上

I-0845

旬迄ノ間被告人水野成夫、黨員塙毅
同川關等、同國領五一郎、同北牧孝
三等、同カ、同キ、同フ、同ン、同タル關
東地方委員會芝地區所屬東京市芝區
月見町所在東京市電氣局芝浦工場ヲ
目標トスル所謂東京市電芝浦工場細
胞ノ構成員トナリ該期間中東京府豐
多摩郡澁谷町櫻ヶ丘末木新三郎方ニ
於テ秘密ニ開カレタル細胞會議ニ數
回出席シ右細胞員ト共謀ノ上
休、工場新聞ヲ發行シ投票日半日公
休ノ要求、單下値下反對等ノ記事



945228

1677

ヲ掲載スルコト
(一) 工場内「スポー」團ニ前衛分
子ヲ潛入セシメテ其内部ニ階級的
意識ヲ高ムルコト
(三) 従業員大會ニヨリ投票日半日公
休、助手技工ト補助手トノ昇給率
不平等撤廢、單價値下反對等從業
員ノ諸要求ヲ煽動スルコト
(四) 共產黨中央機關紙、檄文ヲ黨外
戰鬥的分子タル同工場従業員ニ配
付スルコト
其他諸般ノ事項ニ付協議決定シ



945228

1678

I-0845

0491

第八、被告人徳田球一ノ旨ヲ受ケテ大正十四年八月、前記被告人西雅雄方ニ於テ同被告人ハ幡シ、其翌日頃東京府豊多摩郡代々幡町幡シ、谷ノ黨員市川正一、方ニ於テ同ハ對シ前記「コムニスト」グム「プロ」ニ加入シ、勸誘シ同十五年八月、初頃中央部ノ命令ニヨリ大阪市北區大、阪驛附近ノ森永「キヤンデー」スト、ル「プロ」ニ加入シ、被告人中野尚夫ニ右「グ」被告ハ北浦千太郎ハ、

大正九年九月東京地方裁判所ニ於テ營

業妨害器物毀棄罪ニ因リ懲役四月ニ處セ、ラレシモノナルトコ、其頃ヨリ無政府主義思想ニ共鳴シタルモ、同年「ク」トベ「リ」卒業シタルモ、同年「ク」ト動ニ從事シ、同十四年七月頃被告人徳田球一ノ勸誘ニ應ジ前記「ヒュ」ロ「」ニ加入シ、同年八月「コムニスト」グル「」ノ組織確立ニ參與シ、中央部員青年部長トナリ、同年十五年三月、中央委員ヲ辭シタ、ルモ、同年五月頃再ヒ常任委員ノ要職ニ就キ、樞機ニ參與シ、其間「コミンタ」ン「」日



945228

1680



945228

1679

I-0845

第八、被告人徳田球一ノ旨ヲ受ケテ大正十四年八月、中前記被告人西雅雄方ニ於テ同被告人ハ幡シ、其翌日頃東京府豊多摩郡代々幡町幡シ、谷ノ黨員市川正一、方ニ於テ同ハ加入シ、前記「コムニスト」グム「プロ」ニ加入シ、勸誘シ、同十五年八月、初頃中央部ノ命ニヨリ、大阪市北區大、阪驛附近ノ森永「キヤンデー」一、スト、ル「プロ」ニ加入シ、被告人中野尚夫ニ右「グ」被告ハ北浦千太郎ハ、

大正九年九月東京地方裁判所ニ於テ營
945228 1679

業妨害器物毀棄罪ニ因リ懲役四月ニ處セ、ラレシモノナルトコロ、其頃ヨリ無政府主義思想ニ共鳴シタルモ、同十三年「ク」トベ「ニ」至リ、卒業シタルモ、同十三年「ク」ト動ニ從事シ、同十四年七月頃被告人徳田球一ノ勸誘ニ應ジ、前記「ビューロー」ニ加入シ、同年八月「コムニスト」グループ「プロ」トシ、組織確立ニ參與シ、中央部員青年部長トナリ、同十五年三月、中央委員ヲ辭シタ、ルモ、同年五月頃、再ヒ常任委員ノ要職ニ就キ、樞機ニ參與シ、其間「コミンタ」ニ加入シ、

945228 1680

I-0845

本派遣員ト數回會合シテ其指導ヲ受ケ無
 產者新聞ノ編輯ニ從ヒ黨ノ重要活動ヲ畫
 策セシカ同年十二月、中黨ノ規律違反ニ問
 ハレテ除名サレシモノナルトコロ
 第一、同年八月、初頃東京府豊多摩郡
 落合町下落合ノ被告人佐野學方ニ於テ
 秘密ニ開カレタル被告人前記「ビュロー」
 會議ニ出席シ被告人徳田球一、同荒畑
 勝三、同渡邊政之輔、黨員間庭末吉等
 ト共謀ノ上、前記ノ如ク組織確立、組織
 「テ」共謀ノ上、前記ノ如ク組織確立、組織
 關新聞ニ關スル事項其他ヲ協議決定シ

S 945228 1681

第二、同年八月ヨリ同十五年三月頃迄ノ
 間、東京市淺草區須賀町ノ被告人徳田球
 一、方、前記被告人佐野學方ニ於テ秘密
 ニ開カレタル中央委員會ニ出席シ當時
 ノ中央委員等ト共謀ノ上前記ノ如ク勞
 農政黨運動組合運動、青年運動、對
 支問題、失業運動、對議會政策其他
 活動ヲ協議決定シ其方針ニ對シテ諸般
 第三、同年十二月、東京府荏原郡荏
 原町小山ノ被告人野坂參式方ニ於テ秘
 密ニ開カレタル擴大「ビュロー」會

S 945228 1682

I-0845

議ニ出席シ被告人佐野學、同徳田球一
同渡邊政之輔、同荒畑勝三、黨員間庭
末吉等ト共謀ノ上前記ノ如ク被告人徳
田球一ヲ代表トシテコシタ一被告人徳
＝派遣スヘキコト其他ニ付協議決定シ
四、同十五年五月ヨリ同年十一月迄ノ
間同府同郡調布町丸子玉川丸子園、埼
玉縣粕壁町附近ノ江戸川堤防其他ニ於
テ秘密ニ開カレタル中央常任委員會、
中央委員會總會等ノ諸會合ニ
數回出席シ各構成員等ト共謀ノ上前記
被告人佐野學夫第二所載ノ如キ諸般ノ記



945228

1683

事項ニ付協議決定シ
第五、同年九月頃黨大會ニ提出スヘキ議
案作成等ノタメノ特別委員ニ任命セ
ラレテ其他ニ於テ秘密ニ開カレタル某温泉旅
館ニ出席シ同委員等ト共謀ノ上前記
會ニ出シ同委員等ト共謀ノ上前記
於テ選任スヘキ中央委員ノ選其他ヲ
協議シ大會ニ付議スヘキ當面ノ政治經
濟情勢ニ關スル原案作成ノ擔任ヲ命セ
ラレ
第六、同十四年八月頃ヨリ同年十二月末
迄被告人徳田球一ノ「キヤプレン」タ



945228

1684

I-0845

ル街頭細胞ニ所屬シ該期間中前記被告
 人徳田球一方ニ於テ秘密ニ開カレタル
 細胞會議ニ數回出席シ共謀ノ上前記同
 被告九所載ノ如キ諸般ノ事項ニ付
 協議決定シ
 第七、同年七月頃ヨリ同年十一月頃
 迄ノ間黨員根悦郎、細ヲ組織シ前
 記無產者新聞社ニ於テ隨時秘密ニ細胞
 會議ヲ開キ共謀ノ上同新聞ノ編輯其他
 第八、同年十一月頃ヨリ同年十二月上旬
 頃迄ノ間黨員根悦郎、被告人是枝恭



945228

1685

ニ、一、ギヤプロテン、タム、關東地方委員
 會所屬細胞員トナリ前記無產者新聞社
 ニ於テ秘密ニ隨時開カレタル細胞會議
 ニ數回出席シ共謀ノ上無產者新聞ノ編
 輯其他事務的方面ニ關スル事項、黨ノ
 政策方針ニ關スル時事問題等ニ付協議
 ヲ遂ケ
 被告八、杉浦啓一ハ
 豫テヨリ大日本機械工組合、機械労働
 組合聯合會、關東機械工組合等ヲ組織シ
 大正十三年春前記同盟ニ加入シテ關東
 同盟執行委員トナリ其後前記評議會ヲ創



945228

1686

I-0845

ル街頭細胞ニ所屬シ該期間中前記被告
 人徳田球一方ニ於テ秘密ニ開カレタル
 細胞會議ニ數回出席シ共謀ノ上前記同
 被告第九所載ノ如キ諸般ノ事項ニ付
 協議決定シ
 第七、同年七月頃ヨリ同年十一月頃
 迄ノ間黨員根悅郎細胞ヲ組織シ前
 記無產者新聞社ニ於テ隨時秘密ニ細胞
 會議ヲ開キ共謀ノ上同新聞ノ編輯其他
 第八、同年十一月頃ヨリ同年十二月上旬
 頃迄ノ間黨員根悅郎、被告人是枝恭



945228

1685

ニ、トキヤアテンシタル關東地方委員
 會所屬細胞員トナリ前記無產者新聞社
 ニ於テ秘密ニ隨時開カレタル細胞會議
 ニ數回出席シ共謀ノ上無產者新聞、編
 輯其他事務的方面ニ關スル事項、黨ノ
 政策方針ニ關スル時事問題等ニ付協議
 ヲ遂ケ
 被告杉浦啓一ハ
 豫テヨリ大日本機械工組合、機械勞働
 組合聯合會、關東機械工組合等ヲ組織シ
 大正十三年春前記同盟ニ加入シテ關東
 同盟執行委員トナリ其後前記評議會ヲ創



945228

1686

I-0845

設シ關東地方常任委員、中央常任委員、
歴任シ同十五年、中勞農黨ニ加入シテ爭議
ノ指導其他ノ社會運動ニ從事シ居タルカ
夙ニ共產主義思想ヲ抱懷シ居リ同十一年
七月頃前記第一次日本共產黨ニ加入シ組
合部長或ハ中央委員トシテ活動中同十二
年六月同黨檢舉ノ際起訴拘禁セラレ同年
十二月二十六日保釋出所シ其後再ヒ社會
運動ニ携ハリ居リタルトコ同十四年八月
月初旬頃被告人渡邊政之輔ノ勸誘ニ應シハ
秘密結社ナルコトヲ知リナカラ之ニ加入



945228

1687

シ爾來其組合員或ハ中央委員トシテ活
動シ居タルモ同十五年五月三十一日右事
件ノタメ禁錮十月ニ處セラレ同年六月一
日ヨリ其刑ノ執行ヲ受ケ同年十二月一日
刑期滿了シ其後前同様中央委員其他ノ要
職ニ就キ活動シタルモノニシテ
第一、就同十四年八月被告人渡邊政之輔ヲ
部長トスル組合員トナリテヨリ同十
五年六月迄ノ間東京市内又ハ東京府下
某所ニ於テ秘密ニ開カレタル組合部會
ニ屢出席シテ右渡邊政之輔其他ノ出席者
ト共謀ノ上前記労働組合、無產政黨、



945228

1688

I-0845

0498

失業反對、議會解散請願運動、對支非
干涉等諸問題ニ付協議シタル外主トシ
テ、擴大、中間派組合ノ利用ニヨル評議會
ノ擴大、中間派組合ノ左翼化、上海總
同盟罷業及英國總同盟罷業應援、勞働
代表露西亞派遣其他日常經濟競爭、激
化、芝浦製作所鶴見工場爭議、濱松樂
器爭議等ノ應援ニ付協議決定シ之カ實
現ニ努メ
第一、同十四年十二月中中央部員ヲ命セ
ラレ翌十五年二月頃ヨリ同年五月末ニ
至ル迄ノ間前記被告人徳田球一方其他



945228

1689

第三

一、前記五色大會ニ於テ中央委員候補
者ニ選任セラレ昭和二年一月中旬群
馬縣草津温泉某旅館ニ於テ秘密ニ開
ニ於テ秘密ニ開カレタル中央委員會ニ
屢出席シ被告人渡邊政之輔、同野坂參
式、黨員市川正一等ト共謀ノ上前記無
產政黨、勞働組合、議會解散請願運動
對支非干涉、上海總同盟罷業及英國總
同盟罷業應援ノ各種ノ爭議應援等ノ諸
問題其他諸般ノ事項ニ付協議決定シ之
カ實現ニ努メ



945228

1690

I-0845

カレタル中央委員總會ニ出席シ被告
人徳田球一、同渡邊政之輔、同福本
和夫、黨員市川正一、同三田村四郎
等ト共謀ノ上右被告人徳田球一第五
所載ノ如キ事項ニ付協議決定シ留守
中央委員ニ任命セラレ
二、同年四月頃前記大塚驛附近某方ニ
於テ秘密ニ開カレタル中央委員會ニ
出席シ被告人佐野學、同志賀義雄、
黨員市川正一、同國領五一郎、同三
田村四郎等ト共謀ノ上前記被告人佐
野學第四ノ一所載ノ如キ事項ニ付協
允



945228

1691

議決定シ
三、同年八月頃前記中野町被告人淺野
晃オニ於テ秘密ニ開カレタル擴大中
央委員會ニ出席シ前記各被告人及各
黨員ト共謀ノ上前記被告人佐野學第
四ノ一所載ノ如キ事項ニ付協議決定
シ
四、同年十二月上旬前記日光山中ニ於
ケル報告會議ニ出席シ被告人渡邊政
之輔外十數名ト共謀ノ上右被告人佐
野學第五ノ一所載ノ事項ニ付協議決
定シ中央委員ニ任命セラレ



945228

1692

I-0845

第四

五、同三年一月東京市牛込區若松町ノ
黨員市川正一ヲ於テ秘密ニ開カレ
タル中央委員會ニ出席シ被告ノ中尾
勝男、黨員市川正一、同國領五一郎
等ト共謀ノ上中央常任委員會力前記
「コミンタイン」ノ決定ニ基キ立案
セシタル政治「テ」セシ決定シ
ルヲ討議決定シ

一、同二年一月中旬組合部員ニ任命セ
ラレタル後同年十一月下旬迄ノ間東
京市内又ハ東京府下ニ於テ秘密ニ開



945228

1693

カレタル組合部員ニ屢出席シ出席者
ト共謀ノ上労働組合ノ左翼化、「レ」
工場代表者組織擴大、労働組合統一
五法案要求、失業者救済、府縣會選
舉對策、汎太平洋労働組合會議ハノ
代表派遣、汎邦労働組合大會ハノ代表者
派遣其他諸般問題ニ付組合部ノ採
ルヘキ方針ヲ協議決定シ其實現ニ努

二、所謂黨再組織ニ際シ同二年十二月



945228

1694

I-0845

初旬更メテ組合部員ニ任命セラレ其
 後同年一月初旬迄ノ間數回某所ニ
 於テ秘密ニ開カレタル組合部會ニ出
 席シ出席者ト共謀ノ上組合統一ノ必要
 (一)ナルコト
 (二)組合ト政黨トノ混同ノ非ナルコ
 (三)組合ニ黨ノ影響ヲ及ホスコトノ
 (四)重要ナルコト
 (五)組合内ニ於ケル「フラクシヨ
 ン」ノ任務

S 945228 1695

(五)組合ノ産業別合同ノ必要
 (六)箇別の工場内ニ於ケル鬭争ノ重
 要ナルコト
 (七)失業者救済ノ必要
 (八)太平洋労働組合會議及赤色勞
 働組合ヘノ加盟ノ必要
 (九)提攜ノ必要
 (十)戦争反對運動ヲ起スヘキコト
 等ヲ内容トスル組合「テ」セ「ラ」協
 議ヲ作成シ其後同年一月下旬迄ノ間某
 所ニ於テ秘密ニ開カレタル組合部會

S 945228 1696